京城日報

二日夕刊

定價 本紙 一部金二錢五厘 一ケ月金六拾五錢 三ケ月金一圓九拾五錢
廣告料 五號活字一行金七拾錢 特別 一行金壹圓
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

◎國會召集憲法速定 申令 憲法未定以前舊約法遵行

二十九日左の申令出でたり(北京特電)

共和國體は民意を重んず民意を全うするは唯憲法のみ憲法の制定は專ら國會に俟つ民國國會は三年一月十日停會後召集せず開國五年憲法未だ定らず大本立たず庶政進行に由なきを致す疾く國會を召集し憲法を速定し民意に協へ國本を固くすべし憲法未定以前尚ほ民國元年三月十一日公布の臨時約法を遵行し憲法成立に至りて已む二年十月五日宣布の大總統選擧法は憲法の一部たり繼續有効とす並に合す

◎英軍ソンム北方に捷つ 二十哩の獨軍戰線を占領す

倫敦來電に依れば英軍はソンムの北方に於て猛烈なる砲撃を行ひたる後廿哩餘の戰線に於て攻勢を取り獨軍の全戰を占領し多數の捕虜を獲たり(紐育電報)

◎露軍コロメア占領

露軍はコロメアを占領し捕虜六千名を獲たり(倫敦電報)

◎總督釜山通過

寺内總督は森高橋兩武官及び池邊秘書官を隨へ大屋鐵道局長官、古海警務總長、佐々木道長官、前田慶南警務部長と共に二日午前六時十分釜山着官民の盛んなる歡送迎を受け直ちに連絡船新羅丸にて同六時四十分東上せり大屋長官及び佐々木道長官は同十時三十分發の列車にて歸任し前田警務部長は大池旅館に投宿せり(釜山特電)

◎滿洲便り 大連通信員

▼日支合辦銀行 種々に噂せられたる奉天の日支合辦銀行創設は支那側の張公職會長主として盡力し日本側は奉天總領事代理、石田民會長、伊東商業會議所會頭等その交渉の衝に當り逐次相談の歩を進めつゝある次第にて未だ具體的に決定せざるも株式五百萬圓の資本額とし日支折半にて之を出資し銀券を發行し兌換の基礎不確實にして常に財界に動搖を與ふる奉天省の貨幣界を整理し兼て金融の圓滑を圖らんとするが本行創立の目的なれば愈々設立の曉は現在の不確實なる種々の支那銀行は自然淘汰せらるべく日本側の南滿銀行の如き或は亦此間に合併せらるべき乎といへり本銀行の創設に就ては邦商の多數之を希望し支那の官民も熱心に歡迎し居るを以て創立迄には猶ほ多少の日子を要すべきも遠からず成立の運に至るべし

▼東清線讓渡觀 露國が東清鐵道の一部を日本に讓渡することは最早疑なき所にして其の讓渡線も松花江以南七十餘哩といふことも確實なる事實なるべし而して其の讓渡の結果我が南滿鐵道に種々の利益を齎すべきは豫想に難からざる所なり世人周知の如く滿洲特産の大豆、高粱其他の穀類は東清鐵道沿線に比較的多く産出せらるゝを以て昨年度滿鐵と東清線との聯絡運輸に於いて其の取扱へる特産の高約十一萬噸以上に達したるより考ふるも松花江以南七十餘哩讓渡の結果は北滿産出の大豆其他雜穀が一層南下の趨勢を助長し益々多く南滿線に集中せらるべきは疑ひを容れず隨つてそれ丈け滿鐵の運輸收入を增大する事となり我が滿洲貿易の發展を來たす事ともなるべき道理なり若し吉長線改築實行され更に吉會線の敷設を見るに至らば此の趨勢に一變化を來たすべきも今日のところ縱令その讓渡線が松花江以南を以て限界となすも其の是より享くる利益は蓋し尠少ならざるべしと

▼滿銀期成會 滿洲銀行案に對する在滿邦人の熱心は今猶ほ減却せず今回大連と奉天との兩商業會議所の間に意見を交換したる後その態度を執るべく相互の間に聯絡を保ちたるものゝ如く之と共に滿洲會の主唱にて滿銀期成會を組織すべく既に商工業者のみならず言論界その他のものも之れに加はり前記商業會議所の運動と相俟つて是亦議會開會前に活動を開催すべく現に着々準備を爲しつゝあり。

◎賦課税收入高

四月末現計に依る大正四年度地方賦課税收入額は各道各税を合し總計一百四十六萬四千五百八十四圓にして其の調定額一百四十六萬四千五百七十六圓に對する既收入步合は一千圓に付き九百八十七圓の割合を示せり今之を税別に區分すれば左の如し

▲地税附加税 調定額五十五萬四百十二圓に對する既收入額五十四萬八千二百十圓にして其の收入步合九割九分五厘を示せり

▲市街地附加税 調定額一萬八千三百七十圓にして一萬七千八百十七圓の既收入あり其步合九割七分三厘を算す

▲市場税 既收入額二十一萬九千二百五十二圓にして調定額二十二萬四千五百二十圓に對する收入步合は九割七分六厘なり

▲屠場税 既收入額六十一萬九千四十三圓にして調定額六十二萬九千七十四圓に對する收入步合九割八分四厘に達せり

▲屠畜税 調定額四萬二千二百六十圓にして全部收入濟となれり而して右の諸税を通じ收入成績の最も良好なるは全羅北道にして九割九分七厘忠清南道及び咸鏡南道の九割九分二厘を算し全羅南道の九割九分一厘、慶尙南道の九割九分等順次相亞ぎ、最も不良なるは江原道なるも其の收入步合は九割五分八厘に達せり

◎皮革會社視察

山縣政務總監、遠藤秘書官、秋山參事官、兒玉總務局長の諸氏は二日午前八時五十三分南大門驛發列車にて永登浦へ赴き皮革會社其他を視察して即日歸京したり

◎慶北一般農作況

▲麥作況 本年の麥作は春播麥にありては下種當時に於ける氣候乾燥に失し幾分發芽の不良を來たし且つ五月は概して雨量多き爲め低濕の土地に於ける一般麥作は生育を阻害せられたるも爾後天候適順なりしを以て六月一日の收穫豫想は

▲大麥 一、一六一、一七八石 前年比 約五分五厘增
▲小麥 一七三、四七二石 同 一割二分八厘增

以上の如く本年の麥作は概して好況を呈せしも六月上旬以來の霖雨の爲めに刈取期を遲延せしめ既刈の麥も充分乾燥を了する事能はざるの狀況なりしが更に六月二十二日以來の豪雨の爲め洛東江及び其支流氾濫し刈取りたる麥を流失せしめ又は浸水する等地方により被害甚しきものあるを以て六月一日の豫想に對し一割五分以上の減收は免れざる可し

▲稻作況 慶北道の水稻は比較的灌水不充分のもの多く大正四年度の如く挿秧期の降雨量少き年柄にても約四萬町步の稻苗は挿秧を了する事能はず然るに本年は六月中次の如き降雨量を示せるを以て稻苗の八割は既に挿秧を了し七月五日頃迄には全部の植付を見るに至るべき狀況なり今參考の爲め六月中に於ける大邱地方の降雨量を示せば左の如し

▲六月上旬一三三粍、中旬四三粍、下旬一三八粍、合計四一四粍

而して六月廿二日以來の豪雨の爲め洛東江及び其の支流沿岸の稻苗にして水害を蒙りしものあるも當期に於ける三四日間の浸水は稻の生育收量に著しき影響なきのみならず土砂の爲め埋沒せられたる苗代及び本苗にありても苗の節約又は分株により其不足を補充し得べき見込みなるを以て苗不足の爲め代用作物を栽培せざる可らざるが如き事なかる可しと

◎仁川水道成績 給水家の便宜を圖る

仁川水道給水開始以來五箇年餘を經過し大正四年より永登浦分岐給水を開始するに至り逐年相當の給水增加を示しつゝあるが最近に於ける仁川給水戸口は二千八百餘戸一萬二千人にして現住戸口に對比するときは三割八分強の普及を示せり然れども之を平壤水道の六千六百戸及び釜山水道の五千七百戸に比すれば大に遜色なき能はざる處にして斯くの如く給水の成績遲々たるに徵すれば市民の大半は依然不良井水を飲用すと謂ふべく實に公衆衞生上看過すべからざる事にして殊に漸次盛夏に向ひたるを以て仁川水道にては給水普及を爲すに絕好の時機なりとし可及的給水家の便宜を圖るべきは勿論可成給水工事の請求者に對しては瓦斯管を使用して工費を低價ならしむべく殊に鮮人に對しては可成開放的最低料金を以て給水するの途を講ずべき方針也と佐治仁川水道事務所主任は語れり

◎露國の北滿鐵道政策 浦港行貨物の誘致に對する
―(村瀨鐵道局副參事談)―

絕大なる日露兩國親善の結果として東清鐵道を兩折して其南斷を日本に讓渡せんとすとの說の愈々近く事實と爲りて現れんとするは邦家の爲め欣賀に堪へざる處なるが予は最近に於て長春より哈爾賓に至り更に轉じて吉林を一瞥し北滿州に產出移動する貨物の狀況乃至東清、南滿、吉長各鐵道の之に對する態度等に就き調査する所ありしが

▲露國鐵道の活動 の今更ながら敏活なるものあるを感じ更に省みて我鐵道政策の聊か完全迄に遠き思ひありしを憾とせり即ち東清鐵道が北滿の貨物輸送に就きて注意を拂ひ居れる內の最たるものは北滿の貨物を浦鹽に誘出せんが爲哈爾賓浦鹽間以上に割引したる運賃制を以て寬城子浦鹽間に施行せる事是れなり之を事實に徵するに大豆一封度(六十二封度を以て一噸とす)の運賃

哈爾賓浦鹽間…四八四英哩…十九哥
寬城子浦鹽間…六三〇英哩…十四哥

即ち大豆一英噸を浦鹽に輸送せんとすれば

哈爾賓より…一留八七哥七圓〇七錢
寬城子より…八留六八哥…六圓九四錢

にして哈爾賓より輸送するよりも却つて寬城子より輸送する方低廉なりとする奇現象を發行し居れり更に哈爾賓より大連に至る東清、滿鐵兩鐵道の運賃を計算して右浦鹽行の運賃と對比するに大豆一英噸

哈爾賓長春間…四圓六十三留五哥
長春大連間…三圓四十錢

にして哈爾賓大連間の運賃は哈爾賓より浦鹽迄の運賃に比し殆んど倍額(長春)浦鹽間の運賃に比し實に二圓たらんとし長春大連間運賃は寬城子四十六錢の高賃なり此兩鐵道の餘りに大なる

▲運賃政策の差違 は延いて直に輸送數量の多寡に影響し來る即ち東清鐵道が大正三年度に於て寬城子長春間を輸送したる大豆の總額は廿三萬餘噸にして內十六萬九千餘噸は浦鹽へ出で滿鐵を經由して大連に出でたるものは右の殘額たる六萬二千餘噸に過ぎず更に甚しき現象は東清線の比較的低廉なる運賃を利用して浦鹽に出でたる東清沿線の大豆が海路朝鮮半島を大迂廻して大連に輸送せられ又は日本內地へ搬出せられしもの實に五萬三千噸(大正三年度)に達せり不自然も亦極まれりと謂つべし嘗てホルワット將軍なりしか大連を觀察して日本へ輸出せらるゝ豆粕の頗る有利なるを看破し歸來直に哈爾賓に於ける豆粕製造力を增進し從來六十萬枚の年產額を三百萬枚と爲し最近に於ても既に昨年十二月より今年三四月迄に百六十萬枚を製出し順次浦鹽へ向け搬出せる事實あり此

▲豆粕輸送に對して 東清鐵道は前記大豆の運賃より更に一割五分乃至二割の割引を爲し居れり斯の如き事實あるを見れば假令第二松花江以南の東清鐵道が日本の權圈に入り來れる後と雖も依然從來の如き運賃制を以て經營せられんか折角の北滿の富源も或は東清鐵道の運賃政策に吸收せられ滿鐵は唯徒らに其長大を歎ずるの憾みを抱くが如き事無きか即ち北滿に於ける鐵道政策は今後或は三線運賃問題等の如きに口角泡を飛ばすの時に非ず大に考慮すべきにはあらざるなきか偶々實地を視察して見聞せる所感を語りて世に問はんと欲す

◎韓氏邸雅會

韓相龍氏は二日午前十時より度支部荒井長官及び各部長、各課長、京畿道松永長官及び各幹部を嘉會洞の自邸に招待し雅會を催し午後五時頃まで主客打寬ろぎ散會せり

平壤

▲步兵射擊教練 平壤步兵第七十七聯隊第十一中隊は七月七日午前八時より坎北山附近に於て應用射擊をなす由

▲評議員總會 平壤商業會議所評議員第一回總會は七月三日開會すべく議案は會頭及び常務委員に選定本年の賦課方法等なり

▲成川郡崇仁面近況 成川郡崇仁面倉洞は從來鮮人の經營にかゝる二箇所の金鑛ありしが今春以來藤田鑛業が內地人の津田鑛業を經營するところとなり爾來同人の經營に從事し目下內鮮人四百人を使役し金々事業の擴大を期しつゝあり而して含有量は十萬分の二乃至四ありて成績極めて良好なり目下一日の採掘量は四百貫內外なり鑛石は南浦に回送し久原製錬所にて製錬しつゝあるが一部は水車を利用して製錬に從事せり隨而同地方は一帶に發展し近來五百戸以上の住家建築を爲し人口千四百餘內內地人百餘名の居住を見るに至れり將來事業の發展と共に益々盛況を呈すべし

▲憲兵昇進 平南道警務部保安課勤務憲兵上等兵武藤治助は六月廿七日付を以て憲兵伍長に昇進し同日成川分隊江東分遣所附を命ぜられ近日赴任の筈なり

大邱

▲諏訪典獄出張 大邱監獄典獄は四日より二週間の豫定にて鬱陵島地方視察の爲め出發

▲商會評議員決定 大邱商業會議所評議員選擧は二十八日擧行したるは既報の通りなるが當選者は其後三日間のうちに異議辭退を申出づるものなかりしを以て愈々一日を以て評議員決定せり

▲商會議所役員選擧 大邱商業會議所役員選擧期は未定なるも多分五六日頃是が選擧をなすに至る可し

▲慶北道官吏昇給 石田慶北道書記、松井道技手、後藤慶城郡書記、松本清道郡書記外內鮮人四十四名は六月三十日附を以て各昇給せり

▲課稅價格變更 大邱稅關出張所にては來る十六日より課稅價格を左の通り變更實施する事になせり
▲大豆(上)一石七圓七錢▲同上(並)六圓八十四錢▲小豆(上)八圓九十錢▲小豆(並)八圓五十錢▲大麥(上)三圓二十三錢▲同(並)三圓十五錢▲小麥(上)七圓六十錢▲同(並)七圓廿二錢▲莚子百斤六圓八十錢▲牛皮百斤五十五圓

□途上より(一)
七月一日水原にて 碑崎生

▼七月一日午後。締切時間に迫られし原稿のペンに忙しき最中、突如として『南部地方水害地狀況視察』の命令一下し來る。匆忙更にペンを呵して腹稿を走記し了し、俳友を驅つて歸宅旅裝を整へ、間隙人大阪山口君を訪ひ令息長男君の一週忌の佛前に香を焚き其餘燼に辭して俥を南大門驛に驅る。

▼此日午後に至つて漸く晴れ渡れる一天秋の如く、春く陽光黃く南大樓門の邊に在り、アカシヤの並木にそよぐ夕風は散步の人の輕羅を訪へり。

▼驛には前李王職事務官多田氏の家族を送つて歸東せんとするを見送る人群り、例に依る客の喧騷甚し。皆、我が雨外套を携へ長靴を穿ち望遠鏡を肩にせる異風の餘りに戰鬪的なるに奇異の面持ちせり。

▼既にして定刻、發車すれば同人中島兄あり。客の遠きより來るを永登浦に迎へんとすと。談論須臾にして兄と別るれば軈て頃日の水害にて毀されし安養川假鐵橋に差懸る。徐行する車窓より望めば灣曲せる橋桁尙儼として當時を偲ばするものあり。

出水跡の危岩に草の茂りけり
孤螢飛や出水に露はの土手の骨

釜山

▲瓦電會社起債 朝鮮瓦電會社にては第百三十銀行よりの債務金四十萬圓を返濟せんが爲め今回更に朝鮮銀行より金三十萬圓を借入れ去る三十日其の授受を了ると同時に第百三十銀行に對し其の辨濟を終りたるが殘金十萬圓は先月中旬既に返濟したりと

▲輕鐵實地調查 朝鮮輕鐵技師長水木工學士は去る三十日大邱を經て龍山に向ひたるが大邱にては大邱慶州間の輕鐵線路の起點並に停車場の位置を調査し龍山著後當局と諸般の打合せを爲すべし

▲夜間電車運轉 釜山草梁間の電車は乘客の便宜を計り一日よりは夜間も晝間と同樣十六分毎に釜山郵便局前より發著し最終を十二時六分とし又東萊行は毎夜九時二十六分を最終とし東萊よりの最終發車は十時四十七分なりと

▲商議調查會 釜山商業會議所にては今三日午後一時より同所に於て大正五年度豫算並に賦課徵收方法等に關する調查委員會を開くべしと

▲釜山と奉贊會 釜山府に於ける明治神宮奉贊會獻納金は目下勸誘中なるが去る一日迄の獻金總額は五千三百餘圓に達したれば締切迄には五千五百餘圓に達すべしと

晉州

▲南江の增水 連日の大降雨の爲め南江著しく增水し遂に二丈餘尺に及び沿岸一帶の地に氾濫し內鮮人家屋に浸入を見るに至りし故消防組出動し警戒怠りなし未だ天候恢復せず暗澹たる模樣なるが故霖雨持續せんには如何なる大洪水となるやも豫測し難く人心恟々たり

▲交通杜絕 霖雨の結果道路の破損架橋の流失にて馬山三千浦船津の各交通の機關は全部杜絕せり

▲農作物被害甚大 南江增水の爲め田畑一面濁浪の海と化せし故農作物の被害甚大にして麥の如きは既に腐敗し棉作の如きも發育上面白からざるよし

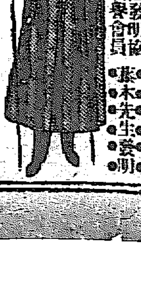
◎正誤 二日朝刊第一面に掲載せる小宮次官の朝鮮古美術談中三段目中央の『政は殊に副葬品』は『副葬品』の誤植、又た〇〇は相談の方便當に訂正す

人事消息

▲服部親信氏(京畿道警務部長) 二日朝政歡より歸任
▲松永武吉氏(京畿道長官) 一日水原へ
▲村川案一郎氏(鐵道局課長) 二日朝東京より歸任
▲木尾虎之助氏(代議士) 一日夜釜山へ
▲宋秉畯氏(子爵) 一日夜水原より歸京
▲多田恒氏(元李王職事務官) 一日夜家族同伴內地へ
▲閔泳徽氏(伯爵) 二日朝大田へ
▲末松四郎氏(丹川守備隊長步兵少佐) 一日入京龍山旅館へ
▲安本重治氏(都新聞記者) 遊覽の爲一日夜入京
▲三浦末吉氏(陸議士) 二日朝忠州へ出張四日歸京の豫定
▲澁多喜太郎氏(大阪造工所長) 入京中の處二日朝退京
▲木村末太郎(林業家) 同上

湖南線方面水害狀況視察並に慰問を兼ね二日午後南大門發列車にて記者別府八百吉を特派致候間讀者各位に謹告仕候
京城日報社

御特許(水防衣) 清浦子爵證明 佛國發明協會名譽會員 藤木先生發明
紳士用特許防水衣は布帛の色、艶、しなやかさを損せず表裏兩布の間にゴムを密著し防水力確實にしてコワバラズ、ベタツカズ體裁宜く縫目にはゴム布を貼りマント、とんび、けつ外套各種 一着十七圓より
長インバネス
●見本及定價表無料送呈
京都府上賀茂 星川發明部 (振替大阪一七七九)



不肖儀
出發歸國の際は遠路御見送を辱ふし難有奉謝候 敬具
七月一日 多田桓

私共龍山在住中は一方ならざる御懇情を賜はり候のみならず又去月廿四日出發に際しては御多用中に拘らず御見送を辱ふし恐縮の至りに御座候茲に以紙上御禮申述候 敬具
大正五年七月一日 釜山水昌洞三九七番
有田寬次郎
同 半
辱知各位

東洋ボックス皮製 第三號 紳士向優良品ボックスカーフ製 金三圓五十錢均一
紳士向上及深ゴム 金四圓均一
一枚皮深ゴム及トンビ形 靴上靴五十錢增し
右の靴は一般に限るもの故に確實なる品質
(定價表御報送呈)
送料一足十五錢 引換料廿五錢 新領土 引換料四十五錢
東京本郷區東片町九二 三倉商會高等靴店 (振替二〇五三九)

不肖儀先般來總督府醫院に入院中の處漸次快方へ赴き候に付本日退院の上當分自宅に於て療養可仕候入院中は毎度御見舞を忝ふし感謝の至りに不堪候何れ全癒の上は參堂御禮可申上候得共不取敢紙上を以て御禮申述候
大正五年七月一日 白上貞一

小資本を以て急速の成功を得可きの特約組合店及代理店一村一名限り獨占支部募集返券入用 收入多額の成功の手引書案內進呈
特約店
東京神田萬世橋際 日本通商聯絡株式會社

水遊び

●獨軍が挫折する時期

＝ヴエルダンの前途＝英露佛の聯合作戰＝獨軍がボクリこ行けば＝勝敗は兵數ではない＝福田中將談

歐洲戰觀戰の爲め渡歐の途に上れる福田中將は二十九日夜大阪通過西下したるが往訪の記者に語つて曰く

先づ露國に入り露軍に從軍して其實戰の狀態及び露軍の準備士氣の如何等を調査し更に英國、佛國に入りヴエルダンを中心とせる西方の戰爭を觀戰したる上歸國の豫定にて滯歐期間は一年以上に及ぶべし此間に戰局は或程度迄推移を來すは素より論を俟たず、目下西方戰局の中心となり延ては

△戰局全體の消長 に大影響を及ぼすべく觀測されつゝあるヴエルダン要塞戰の前途如何といふに此の問題は佛軍の防禦力の程度及び獨軍の攻擊力の程度等を詳細に調査せざれば素より勝敗の如何等を斷定し得べきにざらむるも學術上より觀察すれば要塞たるものは如何なる堅塞と雖も

△遲かれ早かれ陷落 の運命を免れざるものにして畢竟時期の問題なり故に要塞を守備する側に立てる佛軍は一日も長く之を持ち耐へ此の間に於て一方の英露兩軍をして聯合的大活動をなさしむる機會を與ふるより外途なきものたるなり從て今次のヴエルダン戰に於ても聯合軍側は此の策戰に出で居るものなるべく佛軍が

△如何に能く死守 するとも別働隊たる英露兩軍にして此の期間を利用して特別の大活動をなすに非ざれば佛軍の折角の苦戰も何等の効果なきに至るものたるなり英露兩軍側に於ても斯る事は充分に承知の上にして聯合的策戰に出でつゝあるは明かにして最近露軍が破竹の勢を以て突進し連戰連勝

△墺軍を潰滅に歸 せしめつゝあるも畢竟一日も早くヴエルダン戰の急を救はんが爲の共同策戰に外ならずと觀測さるゝなり一方獨軍の攻擊力が何の程度迄の實力を有するや否や獨軍は今日迄凡ゆる方面に於て攻勢を採れる丈け其れ丈けベストを盡して戰ひ其の突進力に於ても極めて猛烈なるものあり從つてヴエルダン戰に於ても

△十分の用意こ兵力 を傾倒して必らず攻勢となし得べしとの自信を以て事に當りつゝあるが如し從て其の攻擊の効を奏する事も目覺しきものあるその代りに若し兵力遣きんか意外に早くボクリと倒るることあるは明かなり故に聯合軍側は此の獨軍のボクリと挫折するの時期までは是が非でも善戰死守せざる可からず何れにするもヴエルダンの陷落如何は有形無形に

△兩軍に多大の影響 を與ふるは勿論にて若し陷落せば其の後の戰局は如何になるやと言ふに直ちに佛國が首都を突かるゝが如きことは勿論是れなかるべきも其の士氣を沮喪せしむるは非常なるものにして之と反對に獨軍は士氣百倍其の結束力と奮鬪力は正に聯合軍を呑むに至るべきは明かなり此の

△士氣の振否如何 は戰局の勝敗に意外の大關係を有するや明かなれば吾人は飽くまで佛軍が踏み耐へんとを希望せざるを得ず人或は獨軍は其の兵數に於て少ければ最後の勝利は何れにするも聯合軍にあるべしなど一口に言ふものあるも一小隊と一聯隊と單獨に戰ふ場合あらば其間の用兵策戰軍器等の巧拙如何に依ては勝敗の岐るゝ原因を作ることこ大なるべく兵員數の多寡の如きは左して大なる原因とならず(大阪)

◇御學問所終了式

皇太子殿下には三十日を以て御學問所第一學期御終了遊ばさるゝに就き東宮御所內御學問所に於て御終了式を行はせられたり午前八時總裁東郷元帥を始め幹事評議員御用掛等參殿殿下には濱尾副總裁以下各出仕を隨へさせ御學問所に臨場軈て東郷總裁は第一學期間に於ける殿下の御成績に就き言上する所あり次で七月一日より御休暇と相成るに就き御體育其他に就き御注意申上げたるに殿下には一々御頷き遊ばされ同八時三十分式を終らせられたり(東京)

實話 子故の犯罪 —5—

一圓から四人の犯罪

二月の寒い朝、白い綸子の周衣を著し毛裏の朝鮮頭巾を目深に被つて水原停車場の待合室の腰掛に人待ち顏をして居るのは安相鎭であつた、老人は幾度も停車場の前へ出て眺めては又待合室に這入つたりして居た京城行き七時四十七分發の列車が來る時刻が近づいて來た、五分鈴が凍つた空氣を震はして鳴り響いた時恰たし、駈け込んで來た若い男を安相鎭は低い聲で呼び止めた、『寒い處を大變に御苦勞で有りました』こう云ひながら相鎭は大きな生皮の財布から赤切符を取り出してそれを若者に渡した、男は云ふまでもなく蔡東秀であつた。

それから二人は一緒に汽車に乘つて京城に著いた、公判まで二三日間が有るので相鎭は毎日東秀を連れて其處此處の朝鮮料理屋を呑み廻つた

『賴んだ通りにナ、是非―』と幾度も繰返へして相鎭は言つた『大丈夫です、奪られた私が此の人ぢやないと云へば大丈夫です、譯の無い事です』と東秀は請合つて居た。

翌日公判の有ると云ふ日の午後、相鎭は何程かの紙幣を東秀に渡して別れた。

參考人として東秀は裁判所へ喚び出され僞りは申しませぬと云ふ宣誓書に記名捺印した上で強盜の安宗烈を突付けられた

『どうだ此の男が蛇長谷でお前の金を奪つた男であらう』こう裁判官に問はれた時東秀は……勿論さうであります此の男だ此の男だ監獄の中で其の時よりも色は蒼白くなつて居るが、紛れもない此の男だ……と心の中で叫んださうして裁判官に向い

『此の人ではありません此の人よりも五つ六つ年上で、丸顏で色の眞黑の、さうして襟に大きな黑子の有る男でした』と最初憲兵隊に訴へ出た時とはまるつきり正反對な事を申立てた、さうして其の日は裁判所を引き退つた

しかし裁判所はこんな嘘で瞞まされはしない、そのうへ當の犯人たる安宗烈は疾くに犯罪事實を白狀して居る、……奪つた金は其の晩、博奕をして皆んな敗けて終つた事まで分つて居る

それから十日あまりして、安相鎭と蔡家の百姓の洪澗杓と蔡東秀は憲兵隊に拘引された安と洪の二人は僞證敎唆罪で蔡は僞證罪で水原地方法院でそれ〳〵懲罰の宣告があつた、蔡は自分が惡い事を爲たといふ事が直ぐに分つて服罪したが安と洪とは蔡に依賴した事がどうして惡いのかよく其の意味が分らなかつたと見えて控訴をしたが結局覆審法院で公判の上二人共處分を受けた(終)

●大雹降る

▽農作物の被害多し

二日午前二時過豪雨と共に約二分間に渉り直徑二寸餘の降雹ありて硝子窓の破壞されたるものあり農作物の被害多かるべき見込なり(安東縣特電)

●各地を荒し廻る

此の程平南順安警察署の手に捕へられたる龍川郡外上面南市生れ無職尹致五(二三)は前科二犯の曲者にて本年三月南浦分監を出獄後四月四日午前一時明岐町清水良藏方に忍び入り銀側懷中時計一個其他物品三十餘圓を竊取し續いて各地にて數箇所を襲ひし後去る二十四日午後九時後浦里廉根方にて知合ひなる金及び李の兩人と會して飮酒中強盜に入らんと約し同日午前一時頃各自に棍棒及び小刀を持ち金昌方にて金三十一圓を強奪し其後順安に入り込みて竊盜を働き居たるを捕へられたるなりと

●小女を辱しむ

巧みに親子を欺いて

釜山埋立新町下宿屋業大野屋事大澤豐太郎方止宿中の長崎縣北松浦郡山口村生れ岩崎光雄(三五)は本年四月頃內地より渡鮮して前記の宿屋に止宿中知己なる富平町田中某宅に同居する女の親子連あり其娘福田はつ(一七)を舞妓に賣らんと其の口を探し居れりとの事を聞き込み自分が世話すべしと言葉巧みに引受け其後數日を經て岩崎は田中及び右の親子二人に向ひ此度其の女子を濟州島の某料理店に五箇年百五十圓の契約にて周旋すべしと云ひ聞かせ母子及び田中を喜ばし立ち歸りしが夫れより數日後の去月廿三日午前十時過ぎ岩崎は突然田中方を訪ひ實は之れより契約主の所に女子を同道して行き契約金の內五十圓丈けを受取り來るべしと甘く言ひくるめて女子を伴ひ田中方を立ち出でしが岩崎は其足で西町の飮食店島越某方の二階に連れ込み同女を辱しめた上翌廿四日出帆の三浦丸にて濟州島へ逃走せんと準備し居たるを一方被害者の母福田みきは事の一部一什を釜山憲兵分隊に告訴したるより直に逮捕され取調べ中なりしが一日一件書類と共に檢事局送りとなりたり(釜山)

●洛東江の減水

洛東江は其後漸次減水し一日朝の調査に依れば十七尺に減水したるが一日午前十時頃より又も豪雨ありて罹災民をして一時不安の念を抱かしめたるも今後大雨無き限りは進永、洛東江驛間の不通個所は四日中に復舊開通の見込みなりと(釜山)

●薄命

去る一日浦鹽より長崎行きの朝郵汽船忠清丸は釜山に寄航せしが同汽船航行中去る廿九日午前十一時半頃船客の熊本縣天草郡二江村石山ミツ(三二)と云ふ婦人が腳氣衝心にて死亡したる爲め近石釜山警察署檢死の上目下國元に引取り方交涉中なるが同人は淸津の田舍深く入込みて支那人相手に淫賣を爲し相當に金を貯めたるものらしく國許へ送りたる金五百餘圓の爲替金受領證を所持し居たる外現金廿五圓額面百圓の郵便貯金通帳及び衣類雜品五十餘點を所持し居れりと(釜山)

●大邱二日目取組

大邱に於ける東京大相撲二日目の取組は左の如し(大邱特電)

(綾鶴(兒島洋(玉柳(駒泉
(朝日山(男島(成瀨山(一湊
(常の花(龍ケ崎(逆鉾(大門岩
(四海波(稻葉嶽(大の川(宮城山
(岩木山(梅川(小常陸(紫雲龍
(釋迦嶽(近江藤(九州山(宇都宮
(兩國(源氏山(對馬洋
(栃木山(大錦(西の海

●熱汁を浴ぶ

京城仁寺洞居住勞働朴明賢妻李姓女は二十八日午後六時頃夕餉の味噌汁を炊ぎ置き內房にて所用中二女朴玉姫(四)は誤つて之れを轉覆し腹部に熱汁を浴びて重傷を負ひたるより直ちに手當を加へしも一日午後六時頃遂に死亡せり

●乾繭場燒く

平安南道成川郡三德面三德里面事務所內乾繭場は六月廿六日午後六時頃爐火より失火し同建物を全燒したり損害高は目下調查中又平安南道成川郡四佳面水曲里四統四戶金俊浩方より六月廿四日午後四時頃より發火し朝鮮式藁家三棟を全燒したり

社會研究 ▼汽車の客(一)

內地から朝鮮へ

新聞記者として四六時中、吾々の前に提供される問題は可なり多いので、ツイ迂闊して、詰らない事件を仰々しく書いて見たり、殊に考へると素敵に面白いタチを極く雜作に取扱つてしまつたりする事が珍らしくない。これは餘りに多く日々起つてくる、社會の出來事に觸れるからでもあり、その結果社會百般の人の以て面白いと思ふ事が吾々に取つて案外興味を覺えないのにも因るが、畢竟多くの場合多忙の爲に事を行るために前のやうな結果に陷るものだと常に思つてゐる。こんなわけで落ついた氣分になつた時、じつと考へてゐると平素氣付かないでヂカ〳〵と過してゐるいろ〳〵の問題が眼の前にマザ〳〵と現はれてくる。見出しに置いた程の深い物ではないが、世の中の出來事の中から、新舊を問はず面白いと思つて思ひついたまゝ、きれ〳〵に書いて見る。―星―

某日、某線の夜行列車の中で知合の車掌の某―假にエフ君と言つておかう―に會つた。―鐵道には可なり古く、十年近く汽車に乘つて居るといふ人―十二時が廻つて

▽薄暗い電燈 は、毛布に括まつた五六の乘客の睡つた顏を淋しく、天井の煽風器は間斷なく黃金の翼をクル〳〵と動かしてゐるけれどもそれは極めて緩るい廻轉で、車中は甚だ蒸し暑い夜であつた。眠られぬまゝ車掌席に出掛けてエフ君に話しかける、職掌柄不眠番のやうなエフ君は、よき談敵御參なれとばかり身構へる。

▽汽車の中は どうして「左樣、よく世間の人も言ふ通り出來ませうね。此の大家族が一緒になつて一年の三分の二以上を汽車の中で暮らしてるうちには隨分面白い事もあれば莫迦げた事もあります。よ―と言つてエフ君は鳥渡天井を見た聯絡船を降りて車中の客となる人の中には

▽紹介狀一本 に一身の運命を托して不安さうな顏をしてゐる青年もあれば、內地に於ける生存競爭の劣敗者らしい生活に疲れた弱々しい身に一家を引き連れてくる人もあり種々雜多ですけれども初めて內地からくる人の朝鮮の事情に疎いのは恐れ入る事がありますね。その內でも面白い事は驛の名の呼び方で、大田をヲオタ、南大門をミナミヲオモンなどといふのはまだしもとして

▽永登の浦は 何處ですなどと質問される事がよくあるのは時々噴き出す事がありますよ。それから內地の人のよく間違ふのは朝鮮には字だけ違つて音の同じの土地が多いのでよく飛でもない間違つた驛迄切符を買つてくる人があります、例へば光州、公州、黃州、洪州などがそれで淸州に星州その他にいろ〳〵こんな例があるのは不注意から起る事とは言ひながら氣の毒です。甚だしいのは

▽滿洲の大連 にゆくのに大田までの切符を買つて來たり、又はその反對の事なども決して珍らしくはありませんね」成程これは初耳だと思はず聽耳を立てればエフ君は「イヤまだ〳〵面白い話はこれからです」と笑つてる。靜かな夜行列車はこんな話を乘せて矢の樣に驅つて行く

京城西花壇開業御披露

時代は、こんな物を生まれさせました酒池肉林の豪者は短かき春の夢の跡萬事眞面目を貴ばるゝ今日となりては淡りした趣味に遊ぶを好ませらるゝ風になりました出過ぎ者で物數寄な主人面白かろう、よかろう、と煽てらるゝまゝに乘氣になり懷ろ勘定ソツチ除けにして思ひ立ちたる此の趣味の樂園京城西花壇幸ひに數多後援者の御力添へでドウヤラ無事に產聲を擧げました、サテ是れからの生ひ立ちは只管世間の御同情御引立を杖力とすがるばかりに候

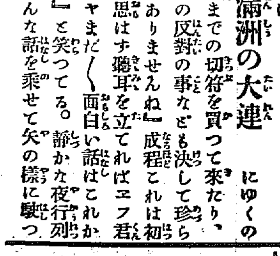
左に其設備と營業振りの一端を御披露申上ます

一、京城西花壇は……庭園廣く四季折々の眺めよろしく趣きを凝らしたる園內に朝鮮家を改造し粹士雅客を待つて差かしからず
一、京城西花壇は……早朝より仕立てある風呂は常に清潔を主とし入り心地よき石疊みにまで注意を拂ひをけり
一、京城西花壇は……各種の娛樂器を備へ高尙なる遊びに供し候
一、京城西花壇は……料理に至りては特に料理人を呼び寄せ新鮮の材料により自慢の庖刀を振ひたるもの美味と衞生的とに於て十分御滿足を與へ得べく候
一、京城西花壇は……諸事御手輕を專らとし御家庭に於ける大差なき費用にて御心安く十二分の御樂しみの出來る事は他に類のなき特色に候
一、京城西花壇は……右の外料理出前御集會の席貸等痒い所へ手の屆く樣抜目なく御用に可應候

ドンナ物か一度御ためし被下永き御贔負を希上候 敬白

開業祝ひとして三日間ビール酒を半額にて供し料理も特に勉強致し候

京城若草町 電話二二六三番 西花壇 (永樂町西本願寺東側井出邸內)



登録商標 直治水

外の目薬にて效なき人は試みよ スグに効ある目薬

主効 ■トラホーム ■やにめ ■はやりめ ■うみめ ■かすみめ ■めくさ 其他眼病諸症に特効あり (点眼器付)價十錢・廿錢

本舖 大阪・東京 丹平商會藥房 全國各藥店ニアリ

直輸入 土木建築 金物商

京城本町一丁目 諸官衙御用達 佐野彦商店 電話一六三番 振替京城二二〇番

千代田生命相互保險會社代理店 名古屋鉚筒株式會社代理店 日本石油特約販賣店

景品附

例年之通り 七月一日より 中元大賣出 十五日迄 大見切品澤山

京城 辻屋 本町

帶革各種 パッキング ピッカー 生皮歯車 綴革組金具 其他工業用諸革

品質保證在庫豐富

朝鮮總代理店 鐵商 白神洋行 仁川本町四丁目

定價表御一報次第送呈

……方を晦して食ふに困り……其次第兵より金十圓を騙取し京城新……人と定め京城本町通……居自動……町を捕縄を携へ刑事の如く装ひて……相手取り質子亡尹萬吉(……)……押へられ京城地方法院にて審……の爲めに恐喝料二千五百圓の請……り角となり……し來りたるが尹萬吉の居りし所は曲……居り危險區域として徐行……十六日より臥床中三十日腸窒扶斯と確定し即時慈惠醫院に收容さる……より兩人の亭主より其の筋に捜査を願ひ出で

……一日夜入港新羅九……二等客……

……六四……行方向 東南東……南西の風強し▲警戒區域 平安南道の沿岸

●夏は涼し相な 金魚の趣味

□東大門外の金魚屋□

□『日本の金魚』なる書物を著はしたエム、スミス氏は日本の社會に於てあらゆる階級に金魚が愛玩されて居ることに驚嘆し且つ日本人は金魚に對し天才的飼養家であると詠嘆して居ます

□金魚は人皇百五代後奈良院の御宇、文龜二年正月二十日、始めて和泉の國堺の津に渡つて來ましたが夫以來人工によつて優麗なものに變種されたのであります

□京城附近では東大門外の金魚屋で澤山飼つて居りますが小さい一尾二三錢のものから美くしい一尾五六十錢乃至一圓のものもあります

□金魚の池は十尾なり二十尾なり容れる程な鉢甕かまたは大きな函のやうなものゝ内に入れて飼ひます

□また水を七分目位いれた三和土の池に水道の水を滿たしてやるもよろしく水は五日目位ために換てやります

□餌は最初糸蚯蚓を小さく叩いて碎いたものを與へ成長するに從つて大きさを增してやります分量は一日に二回もやれば充分です

□冬はまた地下三四尺掘り下げて瓶に入れて置くもよろしく眞夏の暑い時や夜間の暑さうな時には水に掩ひをしてやることが必要です

チボ蘭

●『きりぎりす』

□本町の虫屋にも『きりぎりす』の聲が聞えます

□店頭の小さい竹籠に朝夕の夏を告げ顔なる『きりぎりす』のなき聲よ!!

□其の美しい羽を、翅をふるはせながらぎーぎー!!となく『きりぎりす』の鳴聲よ!!

□『きりぎりす』は千園位のと共に何となく更け行く夏を思はせます

□店で賣るのは一匹十五錢位で餌は葱や胡瓜をたべます

●杏とパインアップル

□野菜屋の店には臺灣産のパイナップルが來ました一個十七錢位

□あんずは龍山から澤山出ます林檎は三個で十錢位

□甘瓜は大邱附近の走りが出ました百匁二十五錢から四十五錢位

□子を持つ親は御用心 平安南道成川郡の料亭の子供龍淳(四ツ)は裏の山にさくらんぼをとりに行き三合ばかりたべて歸りましたところ腹痛が起れて死にました

●中野氏追善寄附

同安部長中野有光氏は先般亡くなられた令孃しな子さんの記念として京城高等女學校と友會へ金三十圓を寄附されましたので學校では圖書室用の書物を購入して記念することとなりました又日出小學校にも同樣の寄附をなさいました

●各學校の暑中休暇 府内各學校の暑中休暇は此の七月廿一日から八月一ぱいとなりました樂しい暑中休暇ももうぢきに參ります

●馬山女學校の校章 馬山公立實科高等女學校生徒は七月一日からきれいな校章を佩用することとなりました

●鎮南浦の婦人會 鎮南浦における赤十字社員は六百七十六名、愛國婦人會員は四百十一名あり、內鮮人の數なかくに多し。

●學藝會 龍山普通學校學藝會は一日午後一時より同校講堂に於て開催內外人及び鮮人生徒の英語、算術、讀話、作文など試み盛會なりき

●小學生の松蚯蚓取 平壤南寺洞小學校にては學校林保護の爲め三年生以上の松蚯蚓の驅除を行ひたり

●崇一學校認可 全羅南道光州にて米國人經營の崇一學校は今回學則を改正して其の筋の認可を得ました

●模範場のバター 水原模範場にては今回同場製造のバターを京城明治屋支店に賣り下げ一般の需用に應ずる事となりました、同店のバターは一部の間には兼ねてより好評を博して居りました

圖瓜哇はよいとこカンボヂヤ薫る

□初嘉坡より一筆啓上仕候□久留島生□

◇昨秋京城日報で面白い御噺を試みたる久留島武彦氏は今回南洋視察團に加はつて南洋地方に赴かれました、手紙に曰く

◇久しく世界の裏街道をさまよひ居りし一行は六月二日始めて表街道の檜舞臺たる新嘉坡に到着致し候

◇これまで小生等の視察したる『瓜哇島』にては椰子の葉茂る新天地に思ひの外の賞玩を重ねたるもの尠なからず誰れ云ふとなく『瓜哇はよいとこ節』など唄はれ申し候

◇其の一二をそと御內通申し上ぐれば『瓜哇はよいとこカンボヂヤ薫る、丁子花咲く椰子實る』と申す正直なところから

◇『瓜哇はよいとこタマリン並木すドー(一頭立の馬車)の轍に風光る』などの名吟もこれあり、其のサドの主は誰れ?、相乘りの君やたにがし無粹なる吾等の覗ふを許されぬところと存じ候

◇『瓜哇はよいとこスンダの乙女サロン(腰まき)姿のなよ〳〵と』に至つては少々恐縮と存じ候

◇さる程に某の殿樣は『瓜哇の娘と仲よくすれば離摩がすりの子が出來る』などいふ風流がり給ひしも聽て一年も相經ち候はゞ『子が出來た』に改めらるべく候

◇猶ほ瓜哇に離れぬ椰子とゴムの學問は各方面にて篤と合點せしめられ『椰子と男は四十が盛り、娘ゴムかや二九さかり』などといふ名吟も現れ候

◇瓜哇全島東西四百哩、川あれば必ず水赤く橋あれば必ず白く塗りたる眼鏡橋あり、蘭人と眼鏡橋は長崎にて既に諸君の熟知し給ふ處なるべし

◇黒き人、白き石橋、赤い水、黄色いバナナ、青い椰子の木と!!は皆瓜哇に於ける忘られぬ印象に御座候

◇黒き髪白い肌著に赤いサロン黄色い歯にて青い實を噛む』などに至つては最早掬れの恩典にも浴すまじく候

番茶のあとこ

夏の衣服のお好みに巖谷小波氏は浴衣の手拭地が一番との仰せ▲素木しづ子氏は『矢張り浴衣に限ります、そして襦袢の襟を多と同じやうにかけるのはおかしい夏は白いものよりも黒いものがかへつて涼しいやうな感がへるやうで御座います』△戸川殘花氏の曰く『夏は羽織袴が流しのこと、なるべく白地か海老茶色がよし』と

回小角鮑のめうがわさび 鮑は上面の苛きものを選び先づ貝の口の端に庖丁をいれて切りたる後箇にて上部一面をよく摩擦すかくするときは鮑の身は固くなる是れを水洗ひ貝の剝き方より庖丁をいれて身を殺ぎたる後一膳ずつに四分位の賽の目に切り之を適宜に鉢に盛り合せには茗荷の子を薄く切り沸騰したる湯の中に一寸いれて既に去りこれをよく水洗ひして水を去りあげびの漿につけおろし山葵を少々添へ酢と醬との二杯酢をかける

◇半夏 二日ははんげの日に當ります昔非■生更紅とあるは薬草の半夏をいつたもので半夏の花の咲く頃です故に俗北の時季にも相當しますから一緒になつたのでせう、因みに梅雨も半夏までと申します、舊時記や天文實鑑しなどの暦に梅雨のあがるは夏至の後のかのえの日で入梅から約そ三十日と記してありますが二日は丁度夏至の後のかのえの日にあたります

神社と教會とお寺

○聖公會(南米町) 二日午前十一時より英國へ歸るシアンソン氏の送別會あり

婦人界消息

△岩本ヒ女子(京城地方法院長夫人) これまで愛國婦人會京城支部として盡力されましたので今回愛國婦人會本部の評議員となられました

△松江きみ(定州普通學校訓導) 二三日病內地より著任されました

●仁川婦人會献金 仁川愛國婦人會にては明治神宮奉讃會へ献金募集のところ今回二千百五十三人、三百餘圓の金が集まりました

●馬山婦人會献金 馬山愛國婦人會に於ても明治神宮奉讃献金は廿九日までの金額十五圓七十錢に上りたり

●大町善瑞氏榮轉 大和町開教院主事大町善瑞氏はこれまで前後二箇年間熱心に布教に盡力致されましたが今回大邱へ榮轉、廿九日出發されました

●酒井布教師元山行 今迦大和町開教院に來られた龜恩院の酒井特命布教師は昨日元山方面へ出發されました

宮本武藏

第八十七回

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

倚て此方は宮本武藏、松屋の店頭にて之れを見て居たが、老人の出て行く跡を附けて參り、親作村桃井源太左衛門の道場の窓下に立て居て試合の樣子を見て居つたが、其の技倆には驚ろき、推量に違はず此老人、高名の御人であらう、願はくば此人に就て劍道の極意を授かりたしと思ひ老人の出て行く後ろから追縋け參つて跪と袂を取らへ 武『御老體、暫時お止り下さるやう 老『イヤ松屋にお在でなされたお武家か、何の御用か知らんが、老人は少々急ぎますからお放し下さい 武『失禮ではござるが只今のお技倆には恐れ入りました、就ては御老人の御姓名を承はりたい 老『イヤお褒めに預つては恐れ入る、如何にも彼等が高慢ゆゑ一寸取押へてやりました、何に致せお放し下さい 武『イヤ少々折入つて御老體にお願ひ申したき事之れありまして 老『爾うしては居られませんお放し下さい、放さんと失禮を致しますよ』と突いて居つた杖でヒシリと手を打つた、武『アーツ』といつて思はず手を放したが、其の儘老人は後をも見ずドン〳〵行つて終つたから、宮本は見失つてはならんと之も同じく急いで參り、軈て來て見ると一軒の綺れ家、茅葺家根に竹垣を廻らし、庭を廣く取つて閑靜な住居、宮本は庭先へ通つて縁側に手を仕き 武『御老人、甚た失禮恐れ入つた次第でござるが、先生のお姓名且は劍道の奧儀を承けたく存じ、お後を慕ふ參りました、拙者事は豐前小倉小笠原右近將監家來、當時浪人宮本武藏と申す者でござる 老『イヤ其許が小笠原家の宮本氏でござつたか、意外の失禮御容赦に預りたい手前は相州小田原の產、伊東彌五郎友景でござる 宮『之は御大名は承はり居つたが御目通りを致すのは只今が初めて、一刀齋御老人でござつたか と双方打解けて語り合ひ、茲で一手立合ひになつたが、劇場などでは宮本、一刀齋の鍋蓋試合抔といつて見せますが、此の鍋蓋試合は宮本ではございません、此の鍋蓋試合をしたのは神子上典膳、後に小野治郎右衛門といつた人なのでございます 抑も此の伊東彌五郎友景といふ人は相州小田原の產で、一刀流といふ流儀を工風して、自ら一刀齋と名乘つた人で、然るに徳川家康公が一刀齋を召出して、一萬石にて召抱へ、枠秀忠の師範役を申附けんといふを、友景は之を辭退して、私老年ゆゑ何分にも此の役勤め難し、願はくば餘人へ願ひたしと申上げたる處、然らば其方の眼鏡に叶つた者を、追て選み差出すべし、先づ夫までは一萬石の墨附は其方に遣し置くとあつて友景は右の墨附を頂戴致して、其後越前國敦賀の山中へ閑居をして、此處にて門弟を取立て、我目に叶つた者あらば、右の墨附を持たせて江戸表へ遣はさんと、專ら武藝を敎授いたして居りまする、多き門人の中に小野善鬼といふ者が、中々技倆が出來ますゆゑ、一刀齋も末頼母しく思ひ、諸國を修行いたして參やうに三箇年の暇を遣すからと言ので、善鬼は喜び、遂に出立いたしましたが、丁度善鬼が出てから二年程經つて三月の中旬であつたが、一人の旅侍が來た ○『お頼み申す、お願ひ申します 老『ドウレ……』と一刀齋友景それへ立出で、見ると一人の修行者、年齡二十一二歳、色白く鼻高くして口元締り、崇爾やかにして愛嬌の有る男、黒木綿の衣類に短袴を著け草鞋穿き、革胴の大小を帶挾み、菅の笠を提げて立つて居るから、友景老人 友『何れより參られしか、何の用事ばしあつて ○『手前は泉州堺の住人神子上典膳と申す者、未熟ながら諸國を劍術修行仕り、孫て老先生の御高名を聞及び居り、御門下の端にお加へを願ひたくと存じ罷り越したる次第、何卒御聞濟下さらば有難き仕合に存じ奉つりまする』と聞いて居つたが、心中に何か思ふ處あつたか 友『ウム、是まで何處を廻つて居つた 典『九州路は勿論東國から北路へ掛けて此の敦賀へ參りました。

入院隨意(診察夜九時迄) 泌尿器病 腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 疳瘡 皮膚病 專門 永樂町二丁目 金光教會隣り 安部醫院 電話四一九番

入院隨意 (京城南大門通三丁目 藤本商店橫入る) 胃腸病院 電話一六五九番 院主 佐々木杏造

明治町フランス教會右トナリ 岡村介石

七月四日九星

舊六月五日 壬寅

本命七赤 四 戌 佛滅

▲七赤 小難み意味する日新事見合南方は吉暗劍西▲八白 志願調ふ日轉居入學金件名弘求作事有る日新事手紙普請土工は妨なし▲一白 求職婚禮試驗を受る吉▲九紫 餘所へ行く……かなる日轉居開業行商名弘求職探訪金談婚禮萬吉▲二黒 倍利の日轉居開業求職金談他建築藥品組合貸組合事皆吉▲三碧 旅行の行わ事有る日新事手紙には吉女子は行末を守る可し▲四綠 一善一惡の日と雖も新事控目の方吉 新事開業は妨なし▲五黄 尾よき日轉居旅行入門名弘求職縁談金件婚禮……▲六白……

演藝案内

黄金館 電話一八五二(階上)二六三七(階下) 天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 Mカシー商會

○六月三十日より提供特別大寫眞 ○泰西大活劇『雄飛號』全三卷 ○頁なローマの國、濟僭おだてにのるな原名『二人女王』センド・クリストファー古塔上飛翔せる飛行船…… ○喜劇三十二所壺坂靈驗記 全二卷 ○日本史劇太閤秀吉一代記 全二百五十米 ……

本町 壽座 電話五七八 曾我廼家蝶々會

六月目替狂言 一 神經 二 戀の斥候 三 貞女モデル 一場 二場 三場

大好評!! 黄金館 大活劇 雄飛號 全三卷 教育參考 日本史劇 大閤秀吉一代記 全四卷

明治町 浪花館 電話二六〇番 ……今回サクラビール後援元鈴木商店より當會に……若葉會主

御成座 電話一九一 ○七月二日替狂言 △御祝儀賀の入船(入登)△懸娘昔八丈鈴ケ森の段(一文字)△勢州阿漕浦平治內の段(井筒)△攝州合邦の辻大さゝ(△箱根靈現壁仇討十一冊目(千雀)△戀及根の鮫鞘鰻谷の段(和艶)△明烏夢の淡雪山名屋の段(金蝶)△佐倉曙儀作內の段(昭盛)△大切本藏下屋敷の段(總掛合)

七月三日替狂言 一番目 人畜性 全十二場 二番目 喜劇二人羽織 全三場

櫻井町 大正館 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 六月二十八日より特別大興行 ……世界的大寫眞『ハート』の3……

花柳病專門 外科 ◎梅毒◎淋病◎泌尿生殖器病 ◎翠丸病◎肛門病◎皮膚病 ◎婦人病◎神經衰弱 ◎六〇六注射◎包皮其他手術 ◎入院隨時 診察無料 京城南大門通農工銀行裏 司生堂醫院

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候 株式會社長崎貯蓄銀行代理店 株式會社十八銀行京城支店 京城黄金町電話四二〇番 振替貯金口座京城八四〇番 同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番 諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

祝仁川支局發展 仁川病院 電話 事務用 一六番 病室用 五二〇番 院長 自宅電 六〇九番 副院長 自宅電 一五六番

生存機能に必要缺ぐべからざる 滋養補血 フェロール 醫家推奬 益々盛なり 美味芳香・病者に最も適當 (大瓶小瓶の二種あり) ●賣捌は各藥店に 御注文は本舖へ 大阪道修町 本舖 小西久兵衛

診察時間 自午前九時 至午後六時 初診の御方は可成午前中 京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行裏門前) シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

優等清酒 京城永樂町二丁目 發賣元 本莊酒店 電話六五四番 振替京城六二〇番

池田季雄 イゲダ小兒病內科醫院 京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話(醫院一三四〇番 自宅一八八〇番)

……新日小學校…… 氏……度 二十五度四分 二十四度一分 ……

大田頁

●大田近況

▲農業一般 第一回出
水時には漸く麥七歩の取入れ終り小麥を殘すのみなりしに二十二日以來降雨續きたる爲め小麥と大麥の一部は取入れをなせしも收穫は豫想の如く好結果にならざるべし 挿秧は二十三四日頃まで降雨を利用し挿秧したるも未だ全部に渡り難く此向きにて進む時は或は稻苗の不足を感ずるに至らずやと案ずる方面もあり、挿秧終了の地方は強雨の爲め多少の被害は免れざりしも江景其他の如く昨今流域の如き被害はあらざるべし 穀類の市場にて取引せらるゝもの百個平均にて上物九十錢內外下物にて五十錢內外を稱べり

▲工業 一般に雨の爲め材料を得難く又運送に困難を感じ居れり就中工場の如き材料は有れども乾燥出來難きを以て如何とも仕難く製品の如き販路はあるも積出しを控へ居れり皮革會社も亦雨に苦しめられ內地方面より注文品あるも製產品なき爲め牛皮の買入れを見合せ居れり其他農具製造業精米業西洋家具屋の如き多少の製品あるも需用者少なき爲めに手控へ只精米業のみは昨今盛なり

▲商業 は是れも降雨の爲め一般に阻止せられ蠶繭の買入れ時期なるに鮮人の搬出少なく鐵山方面との交通杜絕の勝なるを以て一般に苦しみ居れり野菜の如きも行商者少なく一二の支那人行商者を見るのみ故に價格も比較的高騰し來れり精白米は元山方面と取引約束出來たるを以て每日一車乃至二車の積出あり細叺も亦相應の積出あり市中の商況は至つて運鈍にして夏物時期なるもさしたる賣行なく其他雜貨類の如きも沈衰狀態にあり

▲金融 は上述の如き一般の狀況なるを以て緩慢を免れず今期決濟の如きも或は不良なるべき乎上述の如く降雨に據る原因もあるべきが尤も大原因とも云ふべきは大東川改築工事寄附一萬餘圓を釀出したるにあるもの如し然れ共大田沃川間工事の入札既に終り白川氏の手に落ちたるを知るや一般に景氣付き大田は是が爲め必ず恩惠を受くるものとして期待し居れり故に實際に白川氏にして工事本部を大田に置くに至らば內容充實せる景氣を見るに至るべし

●大田の名所(一)

大田町 奴

▲蘇堤園と蘇堤湖 都に名所あり、大田は都なり、故に名所あり、大田に蘇堤園あるは、花の江戶に上野公園あるが如し、大田に蘇堤湖のあるは、猶ほ不忍池を指すが如し、大神宮のあるは、辨財天のあるが如し、但し大西鄕の銅像なきと、鷗の泛ばざるを奈何せむ、然れども大田には大田富士のあるありて誇とす、人あり東都に上りて堤の花に醉ひ、蓮湖の月に吟ずるを樂みさせば、余は大田に在りて蘇堤園の風光を賞し、蘇堤湖の水を愛すと云はむ、勝地本來定主なし、余は其の自然を樂しむ、天地は萬物の間居なり、自然は到る處に存在す、江上の淸風、山間の明月、敢て東坡の文句を拝借するまでもなし

蘇堤園は、大田驛を東北に距ること僅かに三丁、指呼の間に在り、宛然上野公園を盆栽にして睇むるが如し、蘇堤湖は蘇堤園これを孕めり、周圍十有五丁、錢の如くにして不忍池の小模型なり、湖畔の山腹に一家村あり蘇堤里と云ふ、蓁莽の點々たるは塲所柄却て風致を添ゆ、村と相面し湖を挾んで青盤の上に、香爐を置きたるが如き一小岡阜あり、岡阜には瀟洒たる一棟の茶店あり、山水亭と云ふ、眺望頗る佳なり、此の亭由來文人墨客の杖を曳くもの多し、或はまた美姬を拉し來り、杯盤狼藉東天の白くるをも知らざる遊蕩兒の枕席たり、殊に雪月花の遊樂には、お誂向きの色彩なり、以て酒あり肴あり、不時の需に應ずるの備へ到れり盡せり、湖上春酣なれば、湖堤の青柳萬條手を垂れ湖水にひたすの風態、老松山面を掩し、千重翠る奇勝絕景、四方の山色遠近なく、峰巒隨處に轉廻す、是れ則ち天地間一塲の活パノラマなり、岡阜に起てば、その南方大厦の雲に聳ゆるは大田驛なり、東都上野見晴らしより、上野驛を俯瞰するが如し、汽車は轟々地響をたてゝ、西は木浦群山より、北は京城より、入替り揩れ違ふ、而して大田驛を通過し若くは乘降する旅客にとりては、蘇堤園の風景は大田驛の眼の藥なるべし、蘇堤園は大田驛旅客を飾る天爲の大綠門なり、而かも旅客の送迎に、自然の杯を著け禮儀正しく、嬉々然として旅客の行路無事安穩ならむことを祈るに彷彿たり

大田の娛樂

謠曲、玉突、弓、圍碁と云ふやうにあるが、先づ何と云うても謠曲が一番で其中でも寶生流が一番に多い。鐵道組、五人組と云ふやうに色々あるが皆んなで四十人近くある、それが昨今の人もあるが、五年七年と云ふやうに老巧の人が多い觀世流は市場に一時先生が居たさうだが今は居らぬらしい、それでも二十人程はある、喜多流も少しはあるさうだが云ふ程の事はないらしいさうである。撞球もある一部の人には盛んに奬勵?せられてる會員も四十人以上で點數も百五十二百と突く人もあるが平均點數六十位ゐと見たら大差はあるまい、弓は從來揚弓屋はあつたが是れと云ふ猛者は居ないやうである。大弓は近く開設するさうであるが、開けばどうして却々猛者が多いとの事である。圍碁に至つてはなか／＼盛んなもので、謠曲と突張る事が出來る、いや以上に行く位で何れの所に往つても盤と石とはきれいに拭かれてある。

■荒川樓 三龍

口上『エー伺ひますは江戶子自切符三龍で御座います 戶籍は『今年やつと十八歲猫の月生れ』 ノロ『顏は何んでも來い 其上別嬪で上品で溫和で〇〇です 見つきは一寸つんとして居る樣です [illegible]に『黑地に』が氣が知れるとホン好い妓です 何だかあつさりした模樣の御召物がよく似つきます 本人『買ひたいな』記者『買ふてやるがな』 好なもの 牡丹餅、芝居、旅行 嫌なもの かみなり、灸、新聞記者

●死に次ぐ問題

□凡てのものに死がある、分子である人間の死は一番よく眼に見ゐる、それはお寺の坊さんを招待して、聞くまでもない、無常迅速、朝の紅顏夕の白骨である、そして死の次に來る問題は即ち葬式である

□大田には旣に五千近き人が居住して居る、十二年からの歷史を持つて居る以上——有つて居らんでも——死と云ふ關門は誰れが通らねばならぬやら知れんのである

□墓地は面有の一部を割いて、內地人墓地にして居る、それはよいが葬式をすべき塲所がない、次では燒塲がない

□お寺——と云ふても若布敎所であるが、持ち込んでお葬式の出來る所と云ふのは二箇しかない、其他は或は路傍で、或は川の傍の狹い所で、又は鐵道用地の一部で——、とても內地人の頭に入れてる習慣から見た時には、あまりに慘めさに、難詰する者もあるが、併し誰れ一人首唱するものがない、又葬式の庭はいくら狹くても辛抱するとして、火葬塲のないと云ふ事が一番苦痛であり慘めさは一層のものである

□日本人の愛鄕の念は、印度人のそれの如くないまでも、水草を追う遊牧の民ではない、死ねば必ず其所に埋むるまでも一片の骨は必ず、內地の墳墓の地に埋めるのである、或は移住地に埋めんでも、內地へ火葬として必ず送るのである、其火葬塲が無いと云ふ事は、大田の土地を愛せしめ、大田の發達をなさしめる上の大なる障害であらうと思ふ、大田現在及び將來の爲め火葬塲及び葬場の一日も早く設置を希望するのである(詩)

祝大田支局發展

緒方多賀雄

大田鐵道官舍 大田建設事務所 所長 久門雄二

大田地方法院支廳 羽生慶三郎

小寺外二郎

大田憲兵分隊 村田正治

茂木德音

大田鐵道病院 大田本町(長電話四九番) 正六位 佐藤惣太郎 醫學士 安西禎一郎 醫學士 篠岡恭平

大田郵便局長 永谷武次郎

大田鐵道官舍 驛長 吉元久藏

大田保線係長 岡部貴信

大田汽關庫係長 小林四郎八

大田公立尋常高等小學校 校長 榎本壽三郎

大田公立普通學校 校長 中村藤太郎

大田木尺里 青山貞次郎

大田本町 岸辰一 電話一八番

漢湖農工銀行大田支店長 澁谷太吉

大田本町二 大田電氣會社 支配人 村尾吉夫

大田本町一 久納淺太郎 電話二〇番

大田郡守 金昌洙

大田本町二丁目(市場) 辻僅之助 長電話五八番

大田本町二 南部京平 長電話四五番

大田 末吉定十

大田川端町 公醫 藤永病院 電話百〇八番

大田鉢岩里 白石農園 電話二〇五番

大田春日町一丁目 內國通運會社取引店 村尾伊勢松 長電話一一八番

大田榮町 內科小兒科 井手醫院 電話一〇番

大田市場 原醫院 電話二一〇番

大田春日町 內科小兒科 青柳醫院 電話一二七番

大田榮町 義齒技術 竹腰一惠

大田本町一 紀伊殖産株式會社 長電話三二番

朝鮮興業株式會社 大田管理所 電話四八番

大田 忠清皮革化製所

大田本町二丁目 合資會社 大田精米所 長電話一六〇番

大田本町二 藤井齒科醫院 長電話一二三番

大田 井上齒科院

大田本町 眼耳鼻咽喉科 谷田醫院

大田本町 漢城銀行大田支店

大田春日町 大田信託社 主任 畠山源一郎 長電話三三番

大田春日町 花あられ製造所 增田商店

大田本町一 內藤氏雄 長電話八番

大田春日町 瀧川銃砲店支店 長電話二二五番

大田本町一丁目 酒井式木綿網朝鮮販賣所 中村捨三 長電話五〇番

大田幸町 小橋自轉車店 長電話二五番

大田榮町 大田運輸合資會社 長電話五八番

大田本町一丁目 富士材木店 長電話六三番

大田春日町 各國時計商 安東時計店

大田本町一丁目 大田魚市場 經營者 米元元助 電話一一七番

大田春日町一 菱川組主任 須々木權次郎 長電話一二六番

會席御料理 大田傳馬町 富士家 長電話五七番

大田春日町 確實正札 中江呉服店 長電話三八番 振替京城六〇一番

支店 京城本町二丁目 日の丸小間物店 長電話一九二〇番 振替京城二九四三

大田 會席御料理 曙 電話一一三番

會席御料理 大田木尺里電話二〇九番 花月

會席御料理 大田柳町 荒川樓 電話一〇三番

年中無休
京城日報
第三版

……採掘の準備作業に着手せしが……豊富なる由なれば試驗的採取成功せば此の一團を以て一大金礦會社を……

▲獨逸炭坑差押　露國■務省
……全部……作業を休止せる爲め供給の激減せるによる……

●本期北滿大豆　前年より七萬噸減少
……入に於て五萬七千噸豆粕十四五萬枚……あり沿線貨物は四萬噸乃至……萬噸の見込なるが之を前年度に比するに烏……七萬噸許りの減少なりと

●浦鹽の盛觀
……岸壁に……せられ三十……をなし居り……荷に忙しく……社半數を超ゆるも……大なるものなればその大なる事知るべく其數の如きも明言し難きが兎も角想像に及び難き活況なり而して貨……

三日朝刊
(夕刊と合せて八頁)

本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金六拾錢……
廣告料　……
發行兼編輯人　……
印刷人　小川三之介
京城太平通一丁目
發行所　合資會社　京城日報社
電話……

日露協約
京城日報

日露新協約は、去月二十九日を以て、露國樞密院に御諮詢あり、同院は即日可決、直に之を通過したれば、兩國政府調印の上、不日之が批准交換の運に至り、發表せらるべしと。もとより之が内容は、未だ記載すべき場合に非ずと雖も、之を要するに、東洋に於ける日露兩國の親善關係を固うし、兩國永遠の平和、支那の領土保全、兩國の既得權保護機會均等主義の大精神に據り、決定せるものなれば、此目的に反對し、妨害を加ふる者あらば、兩國は其相手の何者たるかを論せず、協同盡力により其の精神の貫徹に努むべきは勿論、不日公表さるべき、協約成文條規の短簡なるに拘らず、其裏面に重要なる意味の存するは明かなるが上に、而も其の精神は、日英同盟の目的、日佛協商の精神にも合致するものにして、且つ特に、豫め兩國と豫議なき協議を試みたるものなれば、世界何國と雖も、此の精神に反對するものは、恐らく之れなかるべし。されば極東に於ける、日露兩國の利益は、共重且つ大を加ふると共に、相互に此の精神に隨ひ、益々之を鞏固にし、之を防衞し、極東平和の維持は勿論、延ては世界の平和維持上にも貢獻する處大なるべし。

抑も日露親善論の、我國政治家の間に唱道せられたるは、三十七八年戰役後にして、恰も第一次西園寺内閣の際、山縣公に依て主唱せられ、時の樞密院議長たりし、故伊藤公及び故井上侯等も悉く之に賛し、兩國相親善して、東洋の平和を維持するは、相互の利益なりと謂ふに在りしが、而も兩國交戰後幾何もなかりし事とて、時機の未だ熟せざるを説く者あり、故伊藤公が、露都に赴かんとして、哈爾賓驛頭の露と化するに至りしも、亦此の精神に外ならざりし也。然り而して日露の親善は、其間益々緻きを加へ來り、遂に四十一年第一回の協商締結せられ、一回は一回毎に親善の度を增進し、相互の利害關係も亦、密邇するに至り、東洋の問題に就ては、既に同盟國も啻ならざる迄に、親密の關係を有するに至りたれど、尚ほ其間獨逸の如き其の野心上より、日露の接近を妬み離間せんとせし傾向あれば、未だ充分に之が實行を見るに至らざりしが、一昨年突如として、歐洲の大戰亂勃發し、益々日露協同親善の必要を認るに至れり。而して我は露國に對し、兵器其他の軍需品上にも、同盟國も及ばざる同情と、援助を與へたるより、彼の上下も衷心我好意を感謝し、更に進んで、益々兩國の親交を希望し、東洋の平和、支那領土保全の爲には、協約に一歩を進めて、同盟行動に出づるも何ぞ辭せざるの意を漏し日露接近の計畫は茲に愈々實現し得るの機會に到達せり。爾來斯くして、兩國は共に胸襟を披き、隔意なき交渉を重ね、以て今日に至りたるは、洵に兩國の爲、欣喜賀に堪へざる次第なりとす。而も日露協約が、日英同盟を相俟て、東洋平和の爲に盡瘁する處多きは、之れ即ち、其間、高等なる政治的意味を含むものにして、且つ此の協約の有する意義は、東西二大強國が、世界の近勢に適應して、日露の親善なる大事實を實現したる、高遠なる政治的意識の發露にして、東洋の政治的基礎を固うしたるものと謂ふべく、其効果の及ぼす處、蓋し甚大なるは疑を容れざる也。

城壁文學
小田省吾

(第四)漢陽都城の造築(中)

(三)都城築造及び工事監督の方法

(承前)右述の標本的箇所から南山國師堂背後に至る間が史料として最も肝要の部分であつて此間に於て左の文字あることを發見した。

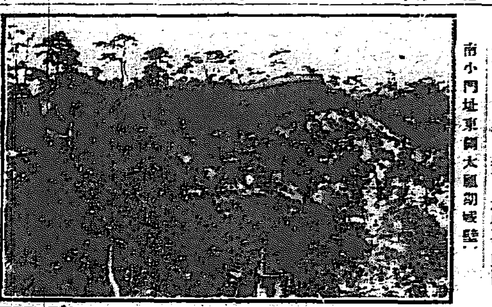
(1)嵬字 此字見六百尺　(2)崗字六百尺
(3)釼字六百尺　(4)號字
(5)巨字終闕　(6)稱字終夜字

是れは如何なる事を示すものであるかといふに、即ち千字文中の玉出崑崗、釼號巨闕、珠稱夜光なる三句中の八字に當るものである。是れで記錄に各工區に千字文の字號を附したとある事の僞でないことが確まるばかりでなく、其の順序によりて排列の方向も明かになり、又此邊が白岳背後の起點天字から算へて四十七字目の崑字より五十五字目の夜字までに當る所であるといふことが解る。此の外に尚駱駝山上の城壁で中央試驗所背後の所に『成字』の文字あるのを發見した。そこで之を前記各道受持の字號に引合して見ると、成字は慶尚道受持の初め頭に當り、夜字は其の終り頭に當るから、駱駝山上から南山國師堂背後附近までが慶尚道の受持であつたことを推測することが出來る。果せる哉、城壁の此同じ部分に於て『慶州始』『星州始』『密陽始』『開寧始』『軍威始』『盈德』といふ文字を發見した。是れは何れも慶尚道の郡名であるから此の邊が慶尚道の受持であつたことを證明して餘あるものである。又此の如く何々郡始とあるにより、一道中の各郡受持をも明かに區分して居つたことが知れる。以上の外千字文の字號に就いては仁王山頂上より少し北に寄つた斷崖の邊に『位字』(最終の吊字より逆算して八字前)のあるのを知つた許りで其の他は未だ之を發見し得ぬのであるが右を證據として各道受持の字號を考へて太祖期の都城築造の時各道受持の實際的方面は大體左表に示す如く推定し得られるのである。

東北面(咸興以南)　白岳の東北背後。(天字—日字)
江原道　肅清門附近より東小門附近迄。(月字—寒字)
慶尚道　東小門附近より東大門、水口門、南小門址南山頂を經て漢陽公園附近迄。(來字—珍字)
全羅道　漢陽公園附近より京城中學校背後の邊迄。(李字—龍字)
西北面(安州以南)　京城中學校背後附近より白岳の西北背後迄。(師字—吊字)

又崑字より夜字までの間(珠字を缺いて居るが)八字までも連續して發見したのは誠に天の與へであつて、殊に『嵬字六百尺』『崗字六百尺』『釼字六百尺』など各字號(即ち工區)の長さを刻して、それが前述の記錄と恰も符節を合するが如くであるのは實に愉快である。斯く實錄の記事と城壁の文字と一致するのを見れば、京城を圍む城壁中斯かる文字を刻してある部分こそ太祖期に屬するものであると斷定することは誰人も異存はあるまい。隨つて此れと同一形式のものは假令文字がなくても同期のものと推定するのである。其の標本的のものは此處に寫眞で示す通りであるが、今之が特徴を述ぶれば左の通りである。

(1)石材は大小不揃且つ何れも自然石のまゝで特に加工がしてない
(2)石組は他の時期のものに比して粗造であつて小さい込石が多く使つてある
(3)城壁面は大體直垂である


南小門址東側大巖切城壁

太祖期城壁石組を示す

南北支那 經濟觀

□漢口と揚子江
木村鋒鐵理事視察談(6)

同文同種の善用—商務總會との連絡—漢口夏の生活—暑氣と運動—獨逸人の態度—長江の舟運—產物の集散

▽同文同種の利便△

我日本人が列國人と共に支那に活動するには同文同種といふ事が邪魔になると云ふ事もあるが直接間接に便利な點が大分ある。歐米人は第一に言語の上に於て苦しむので日本人に對しては支那語は甚だ入り易い。又商習慣其他支那人の爲す事は往々歐米人には奇異に感ぜらるゝ事も日本人には別に不思議ではない事が多い。故に同文同種の關係が日本人の支那に於ける經濟的活動を助くることが相當ある樣思はれる。

▽商務總會の勢力△

支那には到る處に商務總會が存在し、日本の商業會議所とは異なり絶大の權力を有して居る、商人に對して商務總會は保證を與ふる事もあり資金も周旋する、破產の後始末もして呉れる。頗る廣汎の仕事を行つて居る。故に此の商務總會と連絡を執り而して仕事をしたならば日支共同の利益を計る上に頗る好都合であると思はれる。現在の狀況を見るに未だ左樣の形跡の無いのは遺憾である。何とか領事などとも相談して此の方法を計る事は急務の一であらうと思ふ。

▽漢口の苦熱△

漢口の暑氣は非常なものであつた。汽車中などでも餘り暑いので窓を明けて顏を出すと生溫い風が當る。江水の蒸發して濕氣の多い爲めか漢口は非常に蒸暑かつた。健康地ではないさうだ。住家にはヴェランダを備へ、厚いアンペラで日避を作り、廊下を隔てゝ居室を設け、日中は戸を閉ぢ日光を遮斷して雜居してる。夜に入つても溫度が降らぬので、七八月の頃には眠る事ができぬ、その爲め一般に晝寢をして睡眠不足を補ふといふ風で役所邊りでも晝寢が許されてる。外國人は老幼を問はず運動に熱中しテニス、乘馬、ゴルフ等の運動を會社銀行の退け過ぎに二三時間やつて大に汗を流した後でなければ晩食など食らぬ、さうせぬと暑い爲め食慾が起らぬからだと云ふ。漢口にはレース倶樂部といふのがあつて、立派なグラウンドもあり、水を一度代へると七十兆もかゝるといふ水泳場もあるが、江は濁流と瀨があるのでとても泳げぬから、斯んな贅澤な水泳場が必要な譯だと云ふ。此の倶樂部は各國人の共同經營で、獨逸人も七八十人は會員となつて居た。但し歐洲開戰後獨逸人が居るのは困るといふので之を除外する事となつた、その獨逸人排斥會議の時には總ての在留獨逸人が列席し、俺達を排斥するとは怪しからぬと大に意見を述べ、愈々多數決にて脱會を強制さるゝや彼等は正々堂々打連れて席を去つた。その態度が如何にも立派であつたと今でも噂されて居る。漢口に居た時英獨海戰の報が來り英國艦隊が敗れたと云ふ譯で獨逸租界では國旗を揭げて盛んに祝意を表して居た。袁世凱氏の逝去した事も當日午後に漢口で聞いた。恰度河南獨立の事が報道されて居た。多數の革命軍が日本租界に集まつて居たので宿が殆ど塞がり、自分等は狹い室に押し込められるより外はなかつた。

▽集散地たる漢口△

漢口は上海より六百哩の上流に在りて、一萬噸内外の汽船は夏季水の多い時には遡江して來る。此邊の河幅は一哩位もあらうか。濁流滔々として物凄く、自分等の行た時には一萬噸以下の船が十隻許りも碇泊して居た。例年と異なり戰爭の影響にて茶の輸出が少ないのと獨逸船の來ぬ爲め船舶の出入も淋しいと云ふ事であつた。揚子江の支流漢水に沿うた處は戎克の根據地で、遙かに望めば帆檣林立して非常な壯觀である。一體一萬噸もある船は何處の船だと聞いたら、インターナショナル、エキスポート會社の汽船で、此會社は何でも食料品の製造を營むものださうで、其の組織經營の内容は一切秘密にしてるさうだ。但だ豚、鷄、牛、鷄卵などを非常に多量に取扱つて居ること、兎に角非常に規模の大なるものにて其建物は巍然として漢口市中に聳へて居る。

漢口の輸出貿易總額中日本人が取扱ふのは二割位であとは英國露國獨逸人等で、茶は露國人が殆んど專門に取扱つて居る。最も多量に集散する產物は茶、胡麻、桐油、牛皮、豆油、豌豆、麻等である。粤漢鐵道が完成の曉には湖南方面の貨物は此鐵道で廣東に行て仕舞ふ懼れがあるが、川漢鐵道が出來ればそれを補つて一層漢口の輸出を增加するに至るで有う

京日詩壇

○倭城臺櫻谷雜詠　古城　梅溪

倭城臺畔一溪流。溪上櫻花夾水稠。都下謾言牛洞景。誰知此地占清幽。
乘暇短筇歩溪涓。雨後櫻花轉新鮮。綠竹不聞泉石靜。灑纓有客見精神。
劍光帽影識幽尋。一帶櫻雲簇水潯。喜見督官風趣足。公餘緩緩試行吟。
南山風色入春暄。溪上嫩雲香霧繁。帝德熙熙恩露遍。櫻花植得李花園。
惡雨宜風散彩霞。紛紛簇簇又斜斜。觀櫻誰也解眞意。不在開花在落花。
繽紛若雪舞風輕。人逐落紅深處行。不散無娛散還惜。賞心惱殺兩般情。

評曰　語語多自實際來、清幽、調濟、勁健、豪放、種種相備

○寄松田學鷗在咸北茂山再疊成田魯石詩韻　笹島　紫峯

吟鞍入咸鏡。八道馬蹄周。帆駛萬波上、雪殘連岳頭。將軍嘗苦戰。詞客試風流。今昔感多少。朔風吹短裘。

評曰　意厚、筆至

日報歌壇

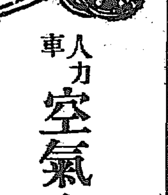
□戀しき鄉　須古多代子

女てふ心の道の裏をゆく悲しき癖を養へる人。
嫁ぎたる女は悲し我が遣りし文さへいとゝ等閑にして。
遁れる力を秘めて風に乘り海渡り來る夏の黒雲。
目覺めゆく森の尊さ新しき生命をたとへ我人を待つ。

萬年毛筆　タイヨー

特價發賣以來其完全無缺なると活動家の携帶品として至便なる點に於て到る處最高評を博し豫期以上の好成績を收めたれば聊か謝意を表する爲め五千本を限り特價六十四錢を以て發賣仕候條此の際引續き御用命ありたし

振替貯金口座京城三〇〇番
京城日報社代理部



人力車　空氣入タイヤ(燈臺印)
自轉車　マツキンレータイヤ(アメA號)
マツキンレーゴム製造所京城一手販賣
各國自轉車
附屬品販賣
及修繕一式
京城黄金町二丁目百廿番地(水標橋通入口)
茨木自轉車商店
電話二九二七番

御料品製造の名譽と信用を擔へる
三ツ矢印……清涼飲料

▼全國幾多清涼飲料製造所中　御料品製造の特殊の恩命を拜せるは純良なる天然鑛泉と天然炭酸瓦斯を特有せる三ツ矢印の外になし
▼此名譽と信用を記念する爲め昨年新に生れたる

御大典記念飲料

は其風味を最も高尚優美ならしめんが爲め昨年來幾多紳士淑女諸君の御批評と御注意を仰ぎたる結果其風味に大改良を加へたり切に御愛飲を冀ふ

▼冷藏庫又は氷に埋のまゝ冷して召上る御方は　コローナ　を
▼氷を入れて召上る御方には　三ツ矢サイダー　を
御薦め致します

日本一の　三ツ矢平野水　製造元
宮内省御用達　東京 大阪　帝國鑛泉株式會社

新內閣組織經緯

南方に氣受け好き人物を採る

北京新內閣發表に就きては政府側にては初め國會開會後之が同意を得て發表すべしとの說及び先づ發表して後國會に同意を求むべしとの說ありしが六月三十日前內閣總辭職を爲し留任困難なると一は南方も內閣改造は從來の主張なれば速かに發表するも差支なかるべしとの見地より終に後說を採り即日黎段兩氏の會見により斯くは役割決定せる次第なりと尙右は南方側とは熟議を經ず唯南方に氣受け好かるべしと想像せる人物を任じたるが司法總長張懷祖の如きは直ちに引き受くるや否や又內務總長許世英、交通總長汪大燮の如き純官僚は南方が承認するや否や疑問なりと(北京電報)

英佛軍の攻擊奏効

倫敦來電に曰く英軍が攻擊を開始すると同時に佛軍步兵は佛軍戰線の前方に進出し全戰線に於て英軍と連絡せり英佛兩軍の攻擊は奏效したり(紐育電報)

▲追報 戰線より到着せる追加報告に據れば英軍は或る地點に於て五哩の進出を爲し佛軍も亦獨軍塹壕第二線に對し攻擊を開始したり(紐育電報)

聯合軍各森林を占領

聯合軍はラボイセル、セレ、モンタウバン及びファヴィールの森林を占領したり(紐育電報)

英軍敵の逆襲を擊退

倫敦來電公報に曰く英軍は去る一日ラビリンスに於て長さ七哩の塹壕を一千碼の深さに涉りて占領しモンタバンに於ける獨軍の逆襲を美事に擊退し捕虜二千を得たり(紐育電報)

戰線占領

英軍の攻勢は著々成功し二十哩の前線に沿へる獨軍の第一線を占領せり(倫敦電報)

佛軍成効

巴里來電に曰く佛軍はレアウモンを奪還し三千五百の捕虜を得たり(紐育電報)

米國正規兵の急送

國務卿調停を拒絕す

華盛頓來電に曰く米國々會は終身兵を正規兵に編入し二千七百五十萬弗を之が使用に流用し得るの權を大統領ウイルソン氏に附與するの案を通過し前記陸兵は米墨の國境に向つて急遽輸送せられつゝあり ボリビア及びサルバトルの公使は米墨事件に關して再び調停を申込みたれども國務卿ランシング氏はカリザルの捕虜が釋放せられ米國の通牒に對するカランザの回答が接受せらるゝ迄同事件を論議するを好まずとて拒絕せり(紐育電報)

鹽稅交附條件

日置駐支公使の傳達

日置公使は鹽稅交附條件三箇條を(英佛露の公使をも代表して)陳財政總長に傳へたり(北京特電)

學士院授賞式

二日午前十時より上野公園學士院に於て本年度學士院授賞式を行ひ大隈首相、波多野宮相、高田文相等出席菊池院長授賞顚末を報告し芳賀、井上、緒方、長岡、田中館の諸氏其れ〴〵各授賞者に關して授賞の理由を說明し終つて左の如く授賞を行ひ後鳥潟博士の無線電話實驗の說明ありて散會せり(東京特電)

恩賜賞品拜受 大矢透
同上 林泰輔
同上 稻田龍吉
同上 井戸泰
學士院章 鳥潟右一
同上 鯨井恒太郞
同上 橫山英太郞
同上 北村政治郞
同上 本多光太郞

大阪より

▲大日本紡の製織 大日本紡績會社 [illegible] 造する計畫なりと

▲大阪商船總會 [illegible]

[illegible] の輸出手旣は大日本人造肥料會社東洋 [illegible] 會社のみならず時局關係のため出張向くことゝなりたるが更に各方面より二萬梱の注文入込みたる由又地方仲買の注文 [illegible] 海の物とも山の物とも [illegible] 大阪市場(買物現はれ [illegible] 底入 [illegible] ふるに製造減相亞ぎ相場漸騰 [illegible] とし此處に相場は [illegible] 問屋は餘儀なく漸騰に [illegible] 買取らん [illegible]

[illegible] の料亭上田樓の [illegible] 十三日 [illegible]

南洋交代兵歸還

南洋守備交代兵、關根、梅津、山口三少佐以下將校四名下士卒三十餘名は陸軍御用船三吉野丸にて二日朝小笠原島より門司上陸、午後七時發列車にて東上せり其の談によれば七月末頃南洋土人の第二回日本觀光團(五十餘名)來朝の筈なりと(門司特電)

□東宮御見學

東宮殿下には三日午前八時二十分東宮御所御出門裏日本及び佐渡の地理歷史等を實地御見學の爲め東京驛御出發相成りたり(東京特電)

寺內總督著關

寺內總督は二日午後五時三十分新羅丸にて門司著、春帆樓に入り一泊の上三日午前九時五十分發東上の豫定(門司特電)

白井少將太田著

白井陸軍少將一行は二日檢閱の爲め大田に來著せり(大田特電)

紅參の販路

當局の擴張策

朝鮮總督府の專賣に係る紅蔘の大正四年度製造高は二萬六千斤だつたが本年は在來の豫定の如く三萬斤を造る事となり切りに作興を續けてゐる、元來此の開城紅蔘の現在に於ける各地需要の販は先づ年產三萬斤を以て限度と見てよいらしく結局本年は其の極頭に迫した勘定であるが今後如何に販路の擴張を圖るかと云ふ事に付き平井課長は曰く、從來

▲紅蔘の需要地 は上海を中心とした揚子江流域沿岸の中部支那である其南支方面にも多少行くければ北京天津の大市場を有する北支那及び南北滿洲は從來殆んど紅蔘の賣行きを見なかつた、乃ち今後は第一に此方面に販路を擴張するの必要なるを思ひ此程來各地の商店に見本等を送り顧客を得んとしてゐる、何しろ此の方面は吉林省の山人蔘が多年堅い地盤を作つてゐるから其の競爭は餘程難事だが或程度迄の割込みは可能と信ずる

▲次は南鮮方面 で同地は支那人の移住し華僑と稱する者四五十萬を算し其の商事產業等により得たる資金を支那に送金する額も少なからずとのことだが之等の主として用ゐつゝあつた紅蔘は今日迄の所全部南支那を經由し仕向けられつゝあつたらしい然るに最近南洋の商店より總督府に對し直取引を望み諸種の照會をなし來る者引きも切らぬ有樣で此方面に直輸出をなすに至れば其の需要量は必ず一進すべしと思ふ更に

▲內地臺灣方面 の紅蔘需要は大正四年から初まつた併し昨年は其の量も極めて僅少であつたが本年は著しく增加の模樣があり將來遂次遞增し行くものと觀測さるゝ斯く北支那及び滿洲南洋內地臺灣と紅蔘の販路を南進北進さして行けば其の產出量も從つて增加の必要を來すだらうし當局では其の諸種の狀況に對し適應する方法をとつてゐる乃ち開城人蔘の種子を往昔の如く全北錦山より引かんとする施設の如き其の一例である

土地異動注意

稅務課當局者の談

土地臺帳及び地籍簿を土地調查局より各府郡廳に引繼ぎし數は既に十二府二島六十六郡に上り夫々所管官廳にて新合による土地異動の取扱ひをなしつゝあるも一般の中には土地を分割併合せし場合其の申告を府郡廳に致すを怠るもの間々あり其の結果土地異動の實際と臺帳記載の事項符合せず所有權に影響を來す場合なしとせず亦土地の賣買讓渡をなせし時は從前の如く文記により其の取引の可能なるやう心得るものもあるやに聞くが賣買讓渡の登記は必らず其の地方を管轄する地方法院及び同出張所に提出するを要し若し之を怠たる時は權利の確保をなし得ずと云ふ

月末郵便貯金

六月末に於ける朝鮮郵便貯金の現勢は預入人員八十九萬八千五百人金額八百九十二萬圓にして之れを前月に比すれば人員に於て三萬餘金額二十四萬圓餘を增加し居れり本年內に一千萬圓に到達するは疑ひを容るゝ餘地なきが如し

西鮮干田植附

南鮮方面の出水被害と前後し西朝鮮方面も降雨例年より多く每年挿秧直播共になし得ざる黃海道延安白川平野の如き平南安州干田の如く用水潤澤にして直播附共に可能の面積少なからず結局平安黃海方面の產米は多額に達すべき模樣なりと

全南棉作被害

全南の棉作は最近南度水害を受けし際地上約五六寸に伸び概葉より本葉二三葉を生ずる位なりしを以て氾濫を受けし棉作地は被害少なからず唯比較的棉作地は高所にある爲め棉作の受けし如からざるも大體に於て三割內外の減收は免れざるべしと

商議會頭問題

大邱商議會議所は近日中に役員選擧執行の筈なれば評議員有志は會頭問題に就き平和的協議を進めつゝあり今回の評議員は何れも相當の抱負と識見あるものなれど會頭選擇に就て稍々困難なる趣なきに非ず伊藤、阪本、加茂、安東氏等の呼聲あれど安東甚蕃氏最も適任ならんとの評あり尙副會頭には伊藤、朴基敦の二氏推さる可きか

各地景況と電話

各地の景況は最もよく電話の增減に現はるゝが最近の所京釜兩地を除けば大邱、全州水原の三地取消なくして激增し平壤亦多少の取消あるも增加の趨勢にあり羅南淸津も亦好良の方なりと

農事獎勵の十項目(一)

農產業界現下の緊急問題

總督府技師 中村彥氏談

農業は實に朝鮮に於ける產業の主腦なる生業として居るのみでなく其他のものに在つても亦多少は之に關係してゐるといふ實狀であるから、人民の幸福を增進し、國家の富力を增加せんとする上に於ては、農業の改良進步を計ることが、第一の急務である。此故に總督は從來農事の獎勵上必須の事項は、道長官會議、道農業技術官會同、其の他の時機に於て屢々訓示、指示、又は部下をして通牒せしめ、各道に於ても亦其の旨趣を體して之が實行に努力し來つた結果、農產物の生產價額は今や既に三億圓を越ね、其の輸移出價額四千萬圓を算するに至り、之を始政當時に比較すれば生產價額に於て約一億五千萬圓、輸移出價額に於て二千五百萬圓てふ激增であつて、過去數年間に於ける農事の改良發達は洵に驚く可きものである。併し乍ら此の改良進步も之れを朝鮮の將來から見る時は未だ漸く其の道程に上つたに過ぎぬので、今後益々其の大成を期せんとするには、從來指示されてある各種事項の旨趣の徹底と、其の實現とに更に一層奮勵努力せねばならぬ。茲に於て總督は今回就中緊要と認められた左記の十項目を列席せられ、之れに就いて遺憾なきを期せしむ可く、政務總監をして各道長官に通牒を發せらるゝこととなつたのである

一、獎勵事項の統一を計るの件
二、地主會の施行す可き事業の種類選擇に關し、指導監督を嚴にするの件
三、農民の勞力に依りて遂行し得可き農事の獎勵事項に對し、一層指導を懇切になすの件
四、優良米種劣種防止に關する件
五、在來米種改良に關する件
六、陸稻、大麥、小麥、粟等の優良種子育成配付に關する件
七、米、大豆等輸移出穀菽類の乾燥調製及び包裝改良を農家に實行せしむるの件
八、綠肥作物の栽培及び其の飼料として利用獎勵に關する件
九、養蠶、乾繭の方法改良及び桑樹肥培に關する件
十、牛皮調製法の改良及び牛骨利用に關する件

依つて自分は以上の十項目に就き順序を追ふて聊か概說し度いと思ふ

平南民籍手數額

平安南道內に於ける民籍手數料額は二千二十四圓廿五錢にして之を郡別にすれば大同郡三百二十四圓六十五錢龍岡百九十三圓九十五錢中和百八十八圓

□淸州より

松木生

□連日の降雨に南鮮の大平野は水害を訴へ居り候へ共山嶽起伏の間に散在せる忠北の平野は全く水難の厄を免れて昨今は隴畝の間豐年の聲を聞き申候

□更に多年當地方民の希望なりし忠北縱貫輕便鐵道—即ち京釜線芙江驛を起點とし淸州を經て忠州に至る—の期成同盟會の組織が企圖せられ、有力なる官民多數の贊同にて着々進行致居り候

□人氣の上るは早きものにて最早內地資本家の此計畫を聞及び投資の目的を以て著目蹉跌……決して自惚れには無之候……するものも二三出來申候模樣に御座候

□されど此縱貫輕鐵と申す娘は恐らく全鮮隨一の美人に可有之從つて新婿の候補者も唯資金の充分なる丈けにては滿足出來ず經歷人品技倆等も一應は確かめたる上にて取り決め度き所存に候此く申すは娘の勝手には無之全く此選擇の如何は斯の事業永遠の利害相岐るゝ所と存せられ候不一(三十日)

五十錢江東九十四圓三十錢順川一百七十一圓五錢平原二百三十五圓卅五錢江西百九十圓九十錢安州百五十四圓七十五錢价川九十四圓四十五錢德川九十五圓三十五錢寧遠八十四圓二十五錢孟山七十一圓七十五錢陽德四十圓三十五錢なりと

仁川檢米成績

仁川穀物協會米穀檢查部に於ける六月十五日より同三十日に至る輸移出米穀檢查總數は玄米二千八百六十八叺中白米百十叺にして玄米は下格として總て大阪へ中白米は大連靑島に仕向けられたるものなり今其檢查成績に就き聞くに夾雜物混入及び乾燥に就ては前月に比し大差なきも恰も梅雨期に際し前示檢查米中にも變質の虞れあるものも認めらるゝ今日市場は漸次閑散期に入りつゝあるを以て廻米不振となるべき趨勢なるも仁川米豆取引所受渡取組高は同所開設以來未曾有の大取組なりと云へば此方面に提供さるべき地方廻米の多大なるものあるべしと當業者は觀測し居れり因に客月下半月中の廻著米檢查數は四千二百五十八叺中白米百九十二叺也

忠北輕鐵同盟會

過般來淸州及び芙江兩地の發起人にて募集中なりし忠北輕鐵期成同盟會員申込みは既に略ば纏まりたるにより取敢ず在淸州會員全部は三十日午後八時より本願寺布敎所に集合して會長以下役員の選擧を行ひ會員各自の今後採るべき方針其他に就いて協議同十二時散會したり

石塚右玄氏入京

東京石塚食療所主石塚右玄氏は朝鮮滿洲及び南北支那に於ける食療上の調查研究の爲め巡歷の途に上り二日午前入京したるが南米倉町鈴木兩藏氏方にて約一週間滯在の豫定なりと

人事消息

▲古海發務總長 二日夜釜山より赴任
▲岡田虎輔氏(總督府技師) 三日朝南大門發太田大邱忠州方面へ出張の豫定
▲鎗野新五氏(八幡製鐵所技師) 二日夜入京山本旅館へ
▲有馬長次郞氏(滿洲甚販院長) 二日夜入京朝鮮旅館へ
▲武藤文吾氏(江原道第一部長) 同上

南言北語

偉人の臨終には往々教訓となるものが多い▲彼のルシタニア號で沈沒した有名なレビュー、オブ、レビューの持主ステット翁なども▲同船沈沒の際甲板上の有樣を見るとスグ自己のキャビンに引籠り從容として海底の藻屑と化した▲ハンプシャ號で遭難したキッチナー元帥の最後は餘りに突急だつたので親しく目擊した者も殆んどない▲イヤあつたか知れぬけれど大抵は溺死して仕舞つたので甚だ不明瞭であるが▲僅ばかり殘つて居る目擊者の談によると元帥は遭難當時頗る悠然として居たらしい▲珍事が突發して各員が部署に就いた時元帥は幕僚一名を隨へてハッチウェーに現れた▲其時幕僚は元帥の爲に道を造れと叫びながら元帥と共にクオターデッキに登つた▲折柄艦長は前艦橋に來るべく元帥に傳へよと大呼した▲元帥の姿を最後に認めたのは此艦橋上で方に降下されんとする艦長自用のボートの側に元帥は立つて居た▲而して艦長が元帥に乘艇を勸める聲だけは聞いた者があるが元帥が果して乘艇したか否かは全く不明で偉人の最後が唯此邊までしか判て居ないのは洵に遺憾千萬である▲併し僅か之れ丈でも彼の威風堂々たる風貌の元帥が悠然として艦橋に立つて居た姿が充分偲ばれる

日韓書房編輯部編

朝鮮總督府普通文官見習及雇員試驗問題解答

四六版三百餘頁 正價六十錢 送料八錢

朝鮮總督府に於ける普通文官判任見習及雇員の受驗者年々增加するに伴ひ受驗準備に適切なる圖書の出版は極めて必要にして受驗者の常に渴望せるところなり本書房は此の緊要なる圖書未だ出版されざるを遺憾とし編輯同人苦心の結果標題の圖書を作成せり本書は總督府設置以來現今に至る迄五箇年餘に涉り內地人及朝鮮人に施行せられたる文官見習及雇員試驗問題を科目每に全部これを蒐集し且つ之に懇切なる解答を附したるものにして蓋し受驗者の羅針盤たるを得ん敢て大方の必要を勸む

發兌元 京城本町二丁目 振替京城百十五番 日韓書房

謹告

當店は明治四十年創立以來十ヶ年の星霜を閱し今回解散仕候營業中は格別の御鍾愛を蒙り以御蔭順境裡に經過致候段難有奉存候今後は前主任松本豐作之を引受け引續き營業仕候間從前の通御引立之程奉願上候敬具

合資會社熊野商會 清算人 成江松之助

謹告

小生儀合資會社熊野商會解散の後を引受け商標商號營業場所什器一切を襲用し引續き營業仕候間何卒不相變御眷顧御引立之程奉願上候追て先般來銳意商品補充中の處昨今殆んど荷揃に相成り候間多少に不拘御用命相仰度此段申添候 敬具

內地產鴨綠江產豆滿江產木材 豐國火災保險株式會社代理店
材木商 熊野商會 松本豐作
朝鮮京城古市町十四番地 長電話一八二番 振替貯金一三八五番

再版賣切れ三版大增補發賣
朝鮮總督府屬 普成法律商業學校講師 西村眞太郞著
朝鮮語會話
定價金八拾錢 郵稅六錢

受驗者必携の資料●袖珍總クロース四百頁頗美本
江湖の大歡迎大好評を受けたる本書は今や再版壹萬部を賣盡して尙要求盛なるに付改訂大增補を行ひ三版を發賣するに至れり朝鮮語の智識は本書に說き盡して餘蘊なし特に受驗者に採りては最も親切なる解說者たり是非共一本を机上に供へられよ

發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
大取次 大阪屋號 日韓書房 巖松堂 各地支局書肆

日韓書房 新版報告
白鳥著 入江のほとり 定價九十五錢 送料八錢
河竹繁俊著 默阿彌物語 定價八十五錢 送料八錢
幹彥著 舞扇 定價九十錢 送料八錢
朝鮮總督府編 普通文官見習及雇員試驗問題及解答 定價六十錢 送料八錢
朝鮮總督府編 朝鮮林野分布圖 定價三 送料十二錢
京城本町二丁目 振替口座一四五・電話一二二七五番

無双醇良清酒
無害衛生

品質無双
首藤合名會社吟造
精白米卸小賣 キリンビール サッポロビール 醤油(丸玉)龜甲萬 シトロン 三矢平野水 サイダー各種 各種
朝鮮發賣元 首藤京城支店 黄金町(電話一一七一番)

定製品は瑞典チヤコール銑鐵の同等品にて特にワイヤロッドの材料を製…會の害…

▲露國へ肥料　從來人造肥料…千九百噸內外後一千五百噸を六、七、八月積浦鹽渡又大阪渡にて露國へ輸…で現はれ一時の好況に比し稍遜色たる狀態に在るが近來東京方面に於て品…

▲麻布品拂底　六月節季は無事經過するならんと…原料不足に加…せられ中には產地へ追注文を爲せるもの尠なからず產地在品も稀薄と…

…救の…七松方漁師柿內又次郎方の座敷宮本藤太郎(三一)は去廿八日晚同地の貸座敷北方…の衣類(代十二圓)を盜み此の金にて同所…屋に登樓し遊興の方に…是れを渡せし事が發覺し…[illegible]

□綠陰 ……貞洞……

獨逸魂

―某將軍の談―　―3―

◇特殊なる軍隊教育◇

◇巧妙なる人物撰定◇

回獨逸人の所謂獨逸魂は地勢が北に寄れば寄る程堅固であつて南に行くに隨つて薄弱になつてる我輩は獨逸から墺地利に行き伊太利に行き佛蘭西に行つたが墺は獨に劣り伊に至つては殆んど比較にならぬ。獨逸の國民性が今日の樣な精華を成すに至つたのは無論いろ〳〵の原因があるに違ひない純粹者が蒙くて敎育の方法がよく家庭の組織、社界の狀態等總て特殊の素因を持てるに相違ない　回是等のあらゆる方面から研究して行つてこそ初めて原因とする處を發見し得る事であらうが其又是等の諸機關が今日の完成を致すのにも國際的位置、國の歷史、民族の歷史等種々の原因があるものであるから一夕の談としては到底說き盡す事は能ない事であるが予の感じた一二の事實を以てするも僅に其一斑を窺知し得るつた趣がある。回軍隊の組織なども他國とは全然違つた方法を見ると一般に對し同じ程度の學科を授け同じ訓練をやらせる。頭のいゝ奴は其儘にして置いて頭の惡い奴を無理耶理に或る一の型に押込んで鈍栗許りを作り上げる、と云ふ遣り方である　回處が獨逸での敎育方法は全然調子が違ふ、頭のいゝ奴を見るとドシドシ研究させ其れに應じて又ドシ〳〵昇級させて行く、之に反して頭の惡い奴には學術的の研究などやめさせて實際的な教練などを盛んにやらせると云ふ風になる。中隊位の中に頭抜けて頭のいゝ奴が乾度二三人はゐるがそんな奴は大學に行くと云ふ風に益々深く研究する。他の連中も彼奴は蒙い、と許してゐる　回一方頭は惡くても擊劍の非常に巧い奴などは中隊長位になつて頻りに部下を養成する。部下の兵士も『中隊長は非常に擊劍が上手だ』と云ふ事で自然其命に從ふ事になる。演習でもやると曩に同僚ではあつたが頭がよかつた爲めに大學あたり迄行つて來た優秀な先生がやつて來て講評をやるのだから中隊長あたりの連中は皆『成程彼奴の言ふ事は眞實だ』と敬服する。恁うして上下自ら心服の裡に軍紀が整つて行く　回其れに人物の選擇などが學術本意で試驗制度で許り行かずに人格から選定してかゝる。此男の家庭は此地方で此位だから充分に重んずるに足る、と云ふので隊長にする、其部下は大抵同じ地方の者で隊長の家の事情にも詳しい、其人物も知つてるしするから自然心服して行く。と云ふ樣な調子である。隨つて軍隊內で更に不平がない　回處が墺地利あたりの軍隊に行くとさうでなくて試驗さへ合格すれば昇級して行けるし部下の方に蒙い奴もゐるようしするから絕ず不平が溢れてゐると云ふ事になる是れ軍紀の亂れる基ともなり軍の强弱にも關係して來る譯である　回――滔々として語り來つた將軍は睨むが如く瞑目を凝視して語を結んだ――　回我輩は怎も獨逸の各方面に於て充實した力の强さを思はないではゐられない、愈々開戰と云ふことになつた時聯合國の爲めに杞憂してた今日だ。戰爭の終結は分らないが戰後の事は我日本に取ても大問題である(了)

◉二百八十哩を僅に六時間

東京大阪間の電車計畫　資本金一億圓を以て設立せんとする

東京大阪間の大電鐵會社の道程內容を聞くに東京澁谷を起點として一直線に相州松田に至り箱根を越へて富士愛鷹兩山の谿谷を經由し靜岡に出で名古屋、龜山を經て大阪市の東端野田村に至る二百八十七哩六十鎖に第三軌條式による四呎八吋半の複線とし著手後六箇年にて竣工電車は幅十呎長さ七十二呎前後で二百五十一馬力のモーターを備へ三十分每に双方より間斷なく發車し六時間を以て運轉しその賃金は東京大阪間、上等六圓並等四圓とし別に急行料等を徵せざる計畫なり(東京)

◉浮浪民三萬人

西間島の森林內に入りて罌粟を密耕す

西間島なる安圖縣は僻遠の境地にして而かも白頭山下の大森林を控へ屈強の天地なるを以て每年夏季には四方より集來する支那浮浪民は無慮三萬人に及び同縣管內定住者以上の人口を加ふる例なるが是等は多く不良不逞の徒にして彼等の主なる目的は普通罌粟の密耕にあり卽ち泚な蒼洞にも似たる森林內に沒匿し人跡を晦ますに於ては軍警の力を以てするも容易に發見する能はず又彼等萬一の場合は軍警を買收し容易に手を降さしめず斯くて九月若しくは十月頃四散するを常とすれども多數の內には馬賊に擬し密耕して得たる阿片の橫掠奪取を目的とするもあり夏季の安圖縣は是等の浮浪民により支配さるゝ觀を呈し李同縣知事は著任以來極力驅逐一掃策を講じ戶口調查の勵行及び保衞團の擴張充實を期し種々畫策する所あるも實行は到底覺束なく同縣知事は苦心し居れり(間島)

◉慘殺して强奪

去る二十九日夜十一時頃全南寶城郡筏橋面松汀里の兩班にして同地私立學校の校長なる徐道鉉氏(六二)方へ强盜十名闖入し道鉉氏を慘殺したる上現金一千圓を强奪逃走せり急報に接し筏橋分遣所より宮崎所長以下憲兵補助員多數現場に出張し慘害の模樣を檢分すると同時に其々手分して犯人嚴探中なりと

◉郵便物を隱匿す

京畿道始興郡秀岩面私岩里生れの安玆元(二三)は安養郵便所の集配人として雇はれ中二月十三日より四月十八日迄の間に配達すべき郵便物二十數通を配達せず自宅に隱匿し又三月十日より二十九日迄に投函を依賴されたる秀岩面牧廿里李根浩外七名より切手代二十七錢を橫領消費したる郵便法違反事件は京城地方法院にて懲役六箇月の處分となりたり

◉溜池で溺死す

去月二十五日午後八時頃慶北達城郡達西面院垈洞居住日稼業李相岐(四二)は同面飛山洞金塘狀と稱する溜池に沿ひたる石壘道路を通行中過つて足を辷し溜池に陷ち込み遂に溺死したり

◉小作料の橫領

全北井邑郡泰仁面七里生れ當時全州郡亂田面仙臥里居住慶李基烈(三一)は同面城皇里阿部農場に雇はれ居るを奇貨とし小作料の取立權限なきにも拘らず昨四年陰十月初旬より十二月九日迄に四年度小作料取立の名義の下に其の小作人たる上里金仁西外數名より穀二十二石五升(見積百三十三圓餘)を橫領費消し逃走したるが泰仁憲兵隊に捕へられ全州法院支廳の公判に送られたり

◉廣島丸の失火

本月一日大阪を出帆し橫濱に向ひたる大阪商船會社汽船廣島丸(三一三三噸)は同夜紀淡海峽通過の際火災を起し消防の後二日神戶に入港せり(大阪特電)

◉大邱二日目勝負

大邱に於ける東京大相撲二日目の勝負左の如し(大邱特電)

勝	負	勝	負
玉柳	兒島洋	男島	綾鶴
常の花	成瀬山	駒泉	龍ケ崎
▲中入後			
逆鉾	一港	岩木山	宮城山
四海波	梅川	小常陸	稻葉嶽
近江富士	大の川	宇都宮	宮城山
紫雲龍	釋迦嶽	九州山	栃木山
兩國	梅川	西の海	對馬洋
大錦	源氏山	男島	朝日山
兒島洋	綾鶴	龍ケ崎	常の花
一港	兒島洋	稻葉嶽	四海波
成瀬山	大門岩	梅川	岩木山
宮城山	大の川	近江富士	釋迦嶽
紫雲龍	小常陸	源氏山	九州山
宇都宮	逆鉾	西の海	大錦
栃木山	對馬洋		
玉柳	▲休 兩國		
▲番外御好み			
九州山	宇都宮	岩木山	紫雲龍

◉大相撲大田乘込

東京大相撲一行は三日午後十一時二十三分大邱より大田著四日初日擧行の豫定なり(大田特電)

◇朝鮮の香料植物

◇中央試驗所にて發見

回朝鮮は地味と氣候の關係上香水の原料を採集するに好適の地である氣候は殆んど內地同樣となつたとは云へ尙ほ且つ雨量の如きは遙に朝鮮の方が少ない朝鮮を世界に於ける香水原料國たる佛蘭西ブルガリヤ等に比すれば地味に於て稍相似てゐる　回朝鮮に生植する植物の內苟くも花を生ずるものは全部香水の原料たり得ると云ふも敢て不可でない、今其一例を擧ぐれば彼の南山菫の如き一度內地に移植すれば何等香を放たないが朝鮮にあつては一種芳烈なる香を有し香水原料植物として有力なるものである　回當試驗所は是等天然植物より所謂天然香水の原料を採取せば或は有益なる研究の結果を得んも計られずと本年四月以來此試驗に著手した、元來天然香料は世界に於ても或る地方を限り生產するものであるが其製造に多大の勞力を要するのみでなく設備にも巨額の費用を要し又製造期間は開花期に限られたる一時的の工業であるから容易に著手する者がない　回從つて製品の價格意外に高く普通香料の如き少なくも一磅の價二千圓を唱へられて居る、是等の香料を花より採集するに普通は一萬分の二內外卽ち原料の花一里の長さより僅々二尺六寸を得るに過ぎない、當試驗所にては香水原料を得るにも適したる植物より試驗を行ふを提倡なりとし先づアカシヤの試驗を行ひつたところ驚く可き優良の香料を得て進んでリラ又はライラツクと稱する花より香料を採取したるにアカシヤ以上に良好なる香料を發見した　回リラは黃海道鳳山郡の金山皆此植物ならざるなき程に繁茂し居り朝鮮の地味に頗る好適せる原料植物である、併しながら是等は何れも其花の形態小さく從つて多量の原料を獲ること困難なればとて他方面に向つて研究を重ねた結果當本田博士の發見したる香木と稱するものは江原道一帶に多量に生產するを以て是等も試驗を行はゞ相當の香料を得ること確實である　回又朝鮮在來の紅色薔薇の一種にて强烈なる香料を含有せる香料植物は栽培の容易であるのみでなく、花の形態も亦大にして採取にも便利なることを確めた故に若し將來此香料植物の栽培を行ふ機運に際會したならば必ず此薔薇の栽培を爲すが適當であらう、こんな風に朝鮮は香水の原料生產地として極めて有望であるから近き將來に於て本工業の勃興を見ること疑を容れぬ(今津技師の談)

巡業日記

鎭西山祐藏

□雨の日の思ひ出　一飯く吹いた五年前の龍山の兄の家の居候

相變らずしと〳〵と降り續く霖雨は依然として二百有餘の力士の頭を惱ましてゐる。世間の人は天を仰いで嘆聲を發するだらうが吾々は大地を睨んで口惜しがる。然かも雨は歇みさうにない、地も乾きさうにない。

▼殘念　だけれども天には勝てぬ。こんなに雨の降りつゞく淋しい日に爲す事も無くボツネンとしてゐると思はずいろ〳〵な事を考へることがある。力を出す事さへ出來ぬ取以外に何の能も無い樣な吾々にも折に觸れてはしんみりとした氣分になる事がある、專私に渡つて相濟まぬけれども私の過去の思ひ出を語らせて戴きたい。丁度今から五年前[illegible]の筒袖に三寸利齒の足駄に西洋兵兒帶を[illegible]巻き龍山の兄を訪れて來た時も斯んな雨の日であつた。其の當時兄は同隊の伊駿院上原の兩氏と三人同居してゐたが水野氏がよく遊びに來て陰氣な時などには[illegible]

▼俳句　など作つてゐたが今總研子の中から庭を眺めてゐるとそゞろに昔の面影が浮んでその當時の事が思ひ出される其の時私は居候の身で女中が居ない時には炊事などをやらせられたが全く經驗がないので隨分弱つたが叱られるので致方がないからやつた。初めて飯を炊いた時、飯が半分以上も

▼黑焦　げになつたので溝の中に打棄つた事もあり又菜拵へにも閉口したが隣りの奧さんに教はつたり拵らへて貰つたりした。晩餐の卓で皆に上手だと賞められたが勿論他製で甘いのは道理でそのたびに私は竊かに笑つたものだ。其の後私の方針もあり又岡本氏渡邊氏などに勸められるまゝ

▼角界　に身を投じたが兩次に頭角を現はして來たところ偶々鐵道局の加藤經理課長殿を初め高官の方や有志の方から贔屓ならぬ御愛顧御引立を辱うする事になつたのは私自身の光榮許りでなく一家一族の名譽であると常に思つてゐるのである。斯く有難い御高恩の萬分の一なりとも報じたいと思ふ一念は身命を賭して稽古に身を入れ眞なる勝敗を

▼超越　して唯々自己の期する所に邁進する覺悟でゐるのである。雨の日に窓に對してゐると近々に京城に行つて皆樣の方にお目に懸れることを思ひ胸が[illegible]。部屋では毎日同じ樣な事をやつて將棋だの何だので起きたり寢たりして居る。天氣が直ると[illegible]羽州山等は今晚行つて妓生を見にゆくのだなど娛樂な事を言て居る(大邱にて)

◉晴れの野球試合

遞信倭城兩軍の舊鬪

遞信局野球部對總督府倭城俱樂部第一回野球試合は二日午後四時十分より訓練院グラウンドに擧行京城野球界に雄視せる遞信野球部と鋭氣勃々たる倭城俱樂部の新チームとの晴れの第一回ゲームの事なれば双方の選手共に何れも緊張したる氣分溢れて見えたり試合は鮮銀の河井君アンパイヤインチーフ京中の九中君壘審判員となり遞信野球部の先攻に始まる最初第三回に於て倭城俱樂部の三點に對して遞信軍は零の不成績を示し漸く第五回の表より遞信軍大いに振ひ次取り返へし之れに反して倭城軍振はず第六回より八回表に至り遞信の六對倭城軍の三の敗に陷りしが第九回裏に至り倭城軍の猛烈なる活躍に由り二點取り返へし結局倭城俱樂部の五點に對する遞信軍の六點を以て遞信野球部の勝利にてセットを告げたり

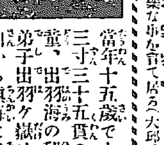
▲倭城俱樂部

C	小坂部
3B	勝木
LF	米倉
2B	三七
RF	柏木
CF	手島
1B	佐々木
P	平山
SS	松浦

▲遞信局野球部

1B	羽田
SS	藤田
P	長岡
C	小川
RF	矢吹
3B	前田
LF	中島
CF	前田先
2B	高塲

兩軍共に守備に巧妙にして攻擊に拙なるは爭はれざる事實にしてストラツクアウトの著しく多かりしは遺憾なりき守備としては遞信軍の長岡倭城軍の平山等何れも立派なる投手なりき又倭城軍のキヤツチヤー及び三壘手等も目立つて働きたり遞信軍の選手は何れも卒なき腕揃ひである事が目に付いた



▲昨今餘程馴れて來て外の力士と座角力を取つたりしつぺい返しをしたり、枕引きなどの力業をやる程になつて來た▲枕引きなどと來ては彼に勝つ者は無い、强いも道理で彼の手は枕一杯になつてしまふさうだ▲大錦が今度の巡業に親父を連れて來て到る所に親孝行の評判をあげて居るが鎭海では荒蕪地千二百坪の借下げ手續をした上に朝鮮人の果樹園を買收する交涉中ださうだ

▲當年十五歲で六尺三寸三十五貫の怪童、出羽海の秘藏弟子出羽ケ嶽は釜山から鎭海と步いてゐる內に大分角力界の空氣に親しみを覺えたものか…

讀者文藝(一等には…を呈す)

▲一口噺

○甲女『美ちゃん貴女の好きな木村さんから電話よ』美『待つて頂戴よ今顏を洗つて行くから』(一等)　京城　高橋　刀水

▲○『日本はなぜ頭が鈍いのだらう』物知り『あたり前よ日本人だつてチヨンマゲ時代は同じぢやーないか』　永柔　玉井　規石

▲弟『飛行家は威張りだね』兄『なぜ』弟『デモ羽を張つて飛んだとなるじやーないか』　京城　森　久榮子

▲甲『そんなに逆立をすると逆だよ』乙『のぼせて居るから血を頭へ下げるのだい』　仁川　柄

▲バナ、を包んで持つてる小僧『之は何だか知つてるかい』大僧『知つてるとしたらどうする』小僧『此中のバナ、な皆やらあー』　鳥致院　田宮　生

▲朝『朝鮮にはなぜ雷が少いだらう』乙『大きな木が無いから落ちたら天に歸れない』　金泉　綠切　船人

はめ込　謎題『乘人戰大夫とかけて』	二日	四日
狂歌『チヨツキ』	同 三日	同 五日
俗謠題『雨』	同 四日	同 六日
川柳題『嵐』	同 五日	同 七日
物はつけ『滑稽なものは』	同 六日	同 八日
次回『一口噺』題宵	同 八日	同 十日

◉肋膜炎を病方に

●水がたまつて苦しむ人　●水がたまらなく苦しむ人

ロクマクエンにて永らく病む人は淡色の淡がたまり淡の中に血が交り膿汁がたまり呼吸をすると胸が痛む咳が出る動くと呼吸が困難になると云ふ隨分難儀な病氣である此の病氣を速く治して丈夫になりませんと世の人々の最も恐れて居ります肺病に成り易いのですが未だ此の病氣に良く効く良藥がありません東京府大森新井宿中江藥療苑へハガキにて御照會あれば是迄實地服藥の上最もヨクキク藥の自宅治療問答書を同病の方に無代差上げますから御遠慮なく申越下さい

京日案內

普通(一回前金三十錢無割引)(匿名一回每に金五錢增)　番外(一回前金六十錢無割引)(匿名一回每に金五錢增)

普通

◉記者募集　自筆の履歷書携帶午前九時迄に本人來談あれ　京城太平通二　朝鮮公論社　622

◉大和琴と大正琴は……格安の……ザンシンなる……京城本二　勞山樂器店　623

◉有給外交員數名採用す希望者は履歷書携帶本人來談あれ　京城花園町一二二　帝國圖書普及會支部　626

▼各宗教經本類▼全部取揃有候▼　京城本町　電二五二七　ウツボヤ書店　616

◉行商人募集　希望者は市內に確實なる保證人有者履歷書持參午前十時迄本人來談　櫻井町二　葉屋煙草店　609

貸家　鐘路警察署橫仁寺洞二五五　日本建官吏會社員向家賃格安使用の便あり　電話二四三六　井村　892

◉讓飲食店　旭町目拔の場所　望の方は電話二九三〇番へ　618

◉店員入用　十五歲より廿歲迄市內に保證人を要す本人來談あれ　京城　ミノヤ自轉車店　621

◉內鮮人共第一回慈善行商員募集　希望の方は京城永樂町二丁目本院　吳孤兒院　611

◉古本高價買入　京城支部へ御來談あれ　◉試驗參考書　◉乞御報卽刻參上　▲勉强是非御　京城本町四　電話二七八一番　群書堂　348

番外

恩給年金　月利一步三厘　保險及保證人不要　金融希望の御方へ數年分立替　京城永樂町一丁目　商品陳列館表門前　江州屋本店　625

貸家　大和町三丁目四九(梶原別邸上)間數五　高臺庭園あり眺望好く官吏に適當家賃廿五圓　永樂町二　京城十友合資會社　627

株　◉公債　有利にして確實なる現株賣物あり　◉現物問屋　京城本町二　田中友吉商店　電話九三九番　624

◉京城春川間每日自働車　京城南大門通五丁目　每日午前八時出發　貨金片道四圓　廣橋自働車　主務　全正灝　電話二二九番　322

商品切手　何處の商店發行のものも高價買入申候(御報次第參上可仕候)電話一八八七　旭町二丁目角　横山商店横入　◯旭商會　844

特殊飲料水販賣人募集　希望者本人來談市內確實保證人要　京城岡崎町八番地　京城清涼社　899

本店新製　クリームキヤラメル　大十錢　小五錢　元祖パン　木村屋支店　京城明治町　電話二八七〇　360

院長醫學博士緒方正淸　大阪　緒方婦人科病院　X放射線科　ラジウム科　電話本局　一九八四番　一九八五番

內務省指定　緒方助產婦教育所　●產婆生徒　本科每年十月　別科隨時入學

東洋一流行の魁　內田式ストロング靴は堅牢優美價格均一確久保證す　御旅行用　靴と鞄　◎定價表郵券二錢　東京市芝區櫻田伏見町角　內田靴鞄製造問屋　電話新一五五一、新橋一八七一七

電氣機械賣却廣告

汽機　米國製二百五十馬力　同　百馬力	貳臺
汽機及送風機　英國製四十五馬力	壹組
汽機及喞筒　米國製三十馬力	壹組
直流發電機　米國製電鐵用七十五キロ	貳臺
喞筒(汽罐給水用)　米國カメロン社製	貳臺

右朝鮮京城に於て賣却致候明細仕樣書は御申越次第御送附可申上候

東京市日本橋區新右衞門町　京城電氣株式會社　朝鮮京城本町二丁目　同　支店

新刊書御案內

書名	著者	定價
▲圍碁及將棋圖書一覽其一		
圍碁實戰詳解	野澤竹朝	七〇
初學獨習 大日本圍碁解釋	井上保申	五〇
圍碁の手ひき	廣瀨平治郎	五〇
圍碁布石通解第一	岩佐六段	五〇
定石速成新法	瀬越憲作	四〇
初學必携五先石立圖解	鈴木五段	三〇
新式圍碁寶典(一二)	鈴木五段	各六〇
名家圍碁妙手說	吉田操子	五〇
新案圖解烏鷺杖紀	稻垣六段	八五
圍碁中の定石	鈴木五段	五〇
爛柯堂棊話全三冊	林元美	一五〇
圍碁幼稚の發茂志備	井上保申	二五
新撰圍碁全集	鈴木五段	一一〇
現今名家碁戰(一二)	中川龜三郎	各一〇〇
圍碁妙選	方圓會	四〇
ポケツト素人棋經	菅川學次郎	三〇
定跡奧義將棋秘傳	將棋新報	五〇
はめて以まりて將棋奇謀	同	四〇
將棋必勝法	溝口六段	五〇
名人大家詰將棋妙手選	將棋新報	三五
寫棊錄 かきいれ用	某大家	二〇

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六　振替京城二五七三

女鳩

渡邊默禪

「三」疑問

雪の宿に起つた其夜の椿事は、居合せた人の心といふ心に大きな謎を投げかけて、疑の淵のやうな疑ひの渦巻に凡てを引入れた。

普通のドロボーだと見る、いかさま宿屋荒しを專門にする邯鄲師などいふ奴がある。併しそれだとすると何等の邪魔をも抵抗をもしなかつた鳩子に對して危害を加へた理由が分らなくなる。しかもその兇行が熟睡中に突入つて絞殺さうとしたのであるから自分を護るために餘儀なく非常手段を用ゐたのではなくつて、初めから鳩子を殺さうとした意思を持つてゐたものだと推測するとが能きる。とすれば子爵の時計を窃取したり、又た外套の衣嚢までも搜して拳銃を持つていつたりしたといふ事實が釣合はなくなつて來る。第一仕事をゆつくりやらうとして邪魔物から先に片附けるといふ考から出たんならば、寧ろ子爵の方に手を下すべき筈であるのに、何故抵抗力の弱い女小供を目指したのか、それも疑問なら、世に有ふれた犯罪行爲の實例から推して考へても、仕事をやる前に人を殺すなんて突飛なやり口は、殆んど病的になつた兇暴な馬鹿者の為ることで、極めて例が少い。大抵は中途で邪魔をされるか抵抗されるかして、拗腹まぎれにやッつけるのが普通である。所が爾うでないから訝しい。假に鳩子を殺すといふことと物を盗るといふこと、二つの目的を併せ持つてゐたのだと前提して判斷して見ても、鳩子に人から附覗はれるやうな怨の種を蒔いた覺は全然ないのであるから、これも辻褄が合はなくなる。

みんなの推測は區々であつた。子爵は汽車中からつけて來た旅稼ぎの大賊ではあるまいかと想像した。生駒はそれほどの者ではなくつて大方地廻りの悪漢だらうと主張した。大野だけは何と思つたか、默つて一言も意見めいたことをいはなかつた。巡査は一々手帳に附込んでから

「何しろ、容易ならん犯罪です、一體此邊では餘り事故のないところで、偶にあつたとしても小盗泥坊か畑荒し、極めて微々たるものですから、これは決して地廻りの無頼漢や何かではありますまい。やはり子爵閣下の被仰るとふり、他の地方から入込んだ大賊であつて、豫じめ閣下の此處へお泊りになつたことを知つて居つたものでせう。兎に角、本署へ急報して捜査の手配をいたしますで、どうか御覺りと御逗留を願ひます」

然う言つてから、宿の主人に目の玉の飛出るほど叱言をくらはせて、とつぱくさと戻つて去つた。

こんな騒ぎのうちに夜が明けた。降りつといた雪はすつかりと霽れ上つて、懐かしい朝日影が銀色の天地を抱擁しつゝ、まばゆい黄金の光をきら／＼と路に反射させて、快げな雀の朝の歌をその上に陽かせてゐた。

「御前、今日お立ちになりますか」と朝餉の時に生駒が訊いた。

「出かけようぢやないか。幸ひに快晴でもあるし、源作といふ都合のよい案内者もできたことだから」

「左樣でございますなア。昨晩の源作の話ではいろ／＼準備も要ることで、直登山といふ譯にもいかんといふことですから、兎に角源作の村までお越しになられまして、諸般の準備をなさいました方が宜しうございませう。といたしますと、織犬の方は如何いたしませうか。大抵今日あたりは最も快適しくなつてゐるだらうと思ひますから、何なら私しが山形までちよつと一走り驅附けて參りまして、退院させるやうなことに爲ませうか」

「爾うぢやね、知らない者が迎ねにゆくよりは、馴染の君が連れて來てくれた方が彼犬も滿足ぢやらう。では御苦勞を願はうか」

「畏まりました」

子爵は東京からルイスといふ愛犬を連れて來た。それが途中吾妻山脈の嶽で怪我をしたので、山形の家畜病院に治療を托して來たのであつた

外科 内科 花柳病 皮膚科 耳鼻咽喉科
京城旭町一丁目（京城府廳裏通り）
島崎病院 電話二七三六番
診察夜九時迄 院長 正六位勳四等 島崎龍一
手術室新設、隔離室、普通病室設備 入院隨意

●釣道具に限り貳割引
釣道具 投網 其他漁網一式 製造 卸小賣
京城永樂町二丁目 吉備商會
監獄署製品販賣所

新刊紹介

▲獨立公論（六月號）布哇に於ける唯一の邦文雜誌なり同地に於ける母國人の感想生活狀態等を見るべし（十仙、米領布哇ホノルヽ市マルチヤント街キヤンベルブロツク一四社）

▲現代の科學（四の六）察問的に研究せる最も興味ある記事を以て滿ぜり、潜水艇の概念「本原工學士」光と照明「二戸博士」の外天文地理、生物、應用化學其の他の各科最新智識の結晶也（二十八錢東京府下澁谷二一五一戸倉）

▲人文（七月號）執筆者は著名の士のみなるを以て内容の緊密せるを見る、二三を擧ぐれば曰く「藝術論」「ヌゴール」「輿論監督の心理」（松本亦太郎）戰爭と文化「大神」（三宅雄二郎）等（十四錢東京市小石川區白山御殿町一七輿中會事務所）

▲教育時報（一二二三）號に教育に關する記事のみならず社會の興味ある問題を集錄せり（十錢東京市麹町區飯田町四の九開發社）

▲判例（一の二）動もすれば理屈にのみ走りて興味に乏からんとする法理を判例に依りて之を會得せしむるの方法に出でしは上乘にして且數千の實例は直ちに之を實際に適用し得べし（十三錢東京市神田區仲猿樂町一藤岡堂）

▲拓殖新報（紀綱號）仲小路貴族院議員、佐藤海軍少將、前田東洋拓殖支店長、今岡、市村、刈谷、服部、浦田、柳、寺尾等の各博士、學士を始め幾多の名士專門家が海運、造船其他海事々業に對する意見を發表したり尙ほ例月の如く各種の記事を收む（二十五錢、東京市京橋區北紺屋町四其社）

▲財政經濟時報（七月號）何時もながら必讀文字を以て滿せり、佛國經濟聯合と日本の位置「本多博士」「歐洲交戰國の最近財政經濟事情」「曾根吾之介」「獨逸工業界之事情」「佐井博士」及論叢欄の横井、添田、佐谷各博士伊藤日本社長上田高商教授其他諸名士の談皆看過すべからざるもの（二十七錢、東京市赤坂區青山南町五の三其社）

▲ミツワ文庫（三八）十錢東京市日本橋區橘町丸見屋

▲情調（一二）十二錢東京市京橋區新川一九其社

讀者の欲み

此間京城黄金町通りを電車に乘つて光熙門方面に進行してゐると折柄乘合せた二十二三位の學生が二十四五歳の婦人に席を讓ると件の婦人は又其夫らしい三十歳位の男に席を讓つて腰を掛けさしたもので、先の學生は怒るまい事か顔を朱のやうにして「男に席を讓つたのではない」と呶鳴り直ちに次の停留場で降車して終つた（乘合せの一人）

▲記者樣へおたづねします大坂の女優養成所へはいるにはどうしたらよろしうございます京城でおわかりになりましたらおしらせくださいませ（女優になりたい女）

▲南山生、正岡さんの御説さちらも一應御尤もの樣で御坐いますが正岡さんの樣に己人主義のみ發達致しましたならば我國七千餘萬の同胞が國家有事の時に勇んで一命を捧ぐるでありましようか或は少々位すねをかぢられ候ても我國の美風を保守致し度くと思ひます（逹城山麓の梢子）

▲楊州郡證明係に呈す余は客月土地證明申請を午前十時四十分道廳に提出し午後四時十五分迄待居たるも何等指示なく汽車の時刻迫り尋ねたる處申請書類中坪以下合、勺才迄記入せよとの符箋にて却下せり依て記入の上提出せば受付せずとのこと本月一日より登記所の開廳と同時に證明事務は取扱ざる爲め遂に申請書全部反古となれり然して官廳の取扱として受付中に絶對に不備の點を申請人に指示せざる規定あるも余の待ち居たる五時間餘の間鮮人には態々印紙の貼用不足及委任狀の捺印洩れ等を一々指示し訂正の上受付居れり其取扱に内鮮人の區別あること一驚せり（注告生）

▲小兒の石に躓きて倒るゝことあり小兒ながらも不注意にて倒れたることを自覺するやう仕向け怪我せぬ程ならば自ら匍うち揃ひて起上るやうすべし、左ればかゝる過ちも多くはなくてすむやうになるなり、然るにすぐに抱起してあまやかしますし大聲を發して泣かしめ罪もなき石に仇呼はりなどするもあれどこれは所謂犬可愛りの仕方にて此時より自立の氣風を失はしむるなり、味ふべき記事ならずや婆育ちに感服して御座る諸氏如何と思召す（木村庄之助）

●哈爾賓より

[illegible]ツタ洲の大金鑛發見[illegible]組織すべしと[illegible]せるヴエルフネウヂンスク[illegible]

▲豆油暴騰　豆油は近來價額愈[illegible]保る炭坑運搬を爲す爲め今回技師[illegible]豆搬出は二十一萬噸にして五月中大[illegible]合計五十萬噸に對し本年の大豆及[illegible]速輸出四十萬噸東清線南下約十萬噸[illegible]浦鹽よりの踏客商によれば浦鹽の[illegible]又は常に傳へられ人々の知る所なる[illegible]ては米國の方多き模樣あり其中最も[illegible]車組立も浦鹽のみにては爲し難きよ[illegible]

水銀 新荷著 保税品有
京城本町二丁目 釘本藤次郎本店
電話四五・二七七四 振替京城二五六

祝仁川支局發展
日鮮向雜貨、鍋、釜諸金物直輸入卸商
仁川京町一丁目 合資會社 玉植商店
電話六五一番 振替京城四一五

●ろいれき 病にて永年苦しむ方も手術せずに大せる淋巴腺肥大を妻縮せしめ消散せしむる後外に出さず混じてあり郵券二十三錢封入者に良劑を呈す
ルイレキ 東京巣鴨新田九二三 敎生堂

に詳報す

外科 皮膚科 瀬戸醫院
旭町二丁目（舊三丁目）
醫學士 瀬戸潔
診察夜九時まで
（電話二四九八番）

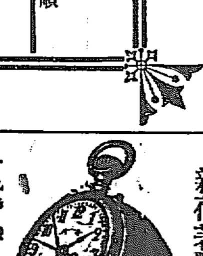
義手足 脊髄 セルロイド 輕便 矯正器
京城本町一丁目五一 高野義手足專門製作所 電話一〇六
當京城大和商會義肢部 （見本進呈）

模範 牛乳 純粋培養 ヨーグルト
太正塚肥醫獸士經營
京城 西四軒町 東亜牧場 （電話五二一番）

花柳病專門藥
本劑は我商會が多年の實驗と最新學理に依り梅毒淋病其他諸種の聽病に最も卓効ある新藥を主劑として健胃的に合理的に配合し極めて服用を以て安全に病患者に治療の目的を達し得る最新良藥なり
梅毒 淋病 ◎一週間分 普通 金壹圓廿錢 特製 金貳圓 特普通 金貳圓 特製 金貳圓五拾錢 自宅療法 無代密送す 申込あれば
京城永樂町三丁目 交番北 東京ドラッグ商會 潘鮮本部
●類似品あり花柳病には東京ドラッグの製劑に限る

祝仁川支局發展 イロハ順

人 仁川米豆取引所仲買人 仲買店 會計主任 倉重悌輔 電話長六〇二番 五三六番
墨 仁川米豆取引所仲買人 田中金兵衛商店 電話長六二八番 一五二番
金 仁川米豆取引所仲買人 高田仲買店 電話長一〇〇・一一九 電信略號「タツ」
今 仁川米豆取引所仲買人 荒木助太郎 電話 二八五番 二六二番
イ 仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎 電話長三三七番 三六八番
マ 仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎 電話 六五番 長一六〇番 六三二番
十 仁川米豆取引所仲買人 仲買店 電話 三九番
日 仁川米豆取引所仲買人 仲買店 支配人 土居勝 電話長二八一番 二八三番
吉 仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 行實秀吉 電話長九一二・四一二・三〇九 電信略號「エキ」又八「ユ」 振替口座京城三一五六番
巴 仁川米豆取引所仲買人 三巴仲買店 店主 淺松太郎 電話長一二二番 一四一番
利 仁川米豆取引所仲買人 森仲買店 電話 九〇五番

新荷著 スヰス製 懐中時計

[illegible]
右は今回新着の商品にて本商會獨り之を有し店には無き所の地方の御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候
本店 京城本町二丁目 電話九七二番 イングレッシー商會
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國貴直輸入商

謹て御會葬御禮申上候 父 平賀秀松

大邱浦項間自動車時間 [illegible]
大塚農場自動車部 大邱出張所 電話一一七番

金泉醴泉間自動車時間 [illegible]
金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 立神丸 月 日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸 月 日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 月 日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三寧平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三寧平丸 月 日後六時出帆
○住須奈、嚴原、壹岐、博多行 天草丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 第一共同丸 七月 日後二時入 三日正午出
朝鮮鐵道主要驛にて旅客連絡通運取扱仕候 大連にては青島行定期船に接續取扱可仕候
○城津、清津、浦鹽行（元山出帆） 第一阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 月 日前八時出
第三共同丸（元山出帆） 月 日
仁川代理店 田口回漕部 元山代理店 山下回漕部 京城取次店 河村運送店
阿波國共同汽船株式會社

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行 相模丸 七月五日 正午出帆 高砂丸 七月十五日 正午出帆 三河丸 七月廿六日 正午出帆
仁川海岸町 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 君が代丸 七月九日後四時出帆 大有丸 七月十二日後四時出帆 神代丸 七月十六日後四時出帆 秀吉丸 七月十四日後四時出帆
仁川海岸通 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆
[illegible]

朝鮮郵船出帆
[illegible]